2-021-169-**11** (1)

液晶カラーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

KLV-20SP2

このページの使いかた

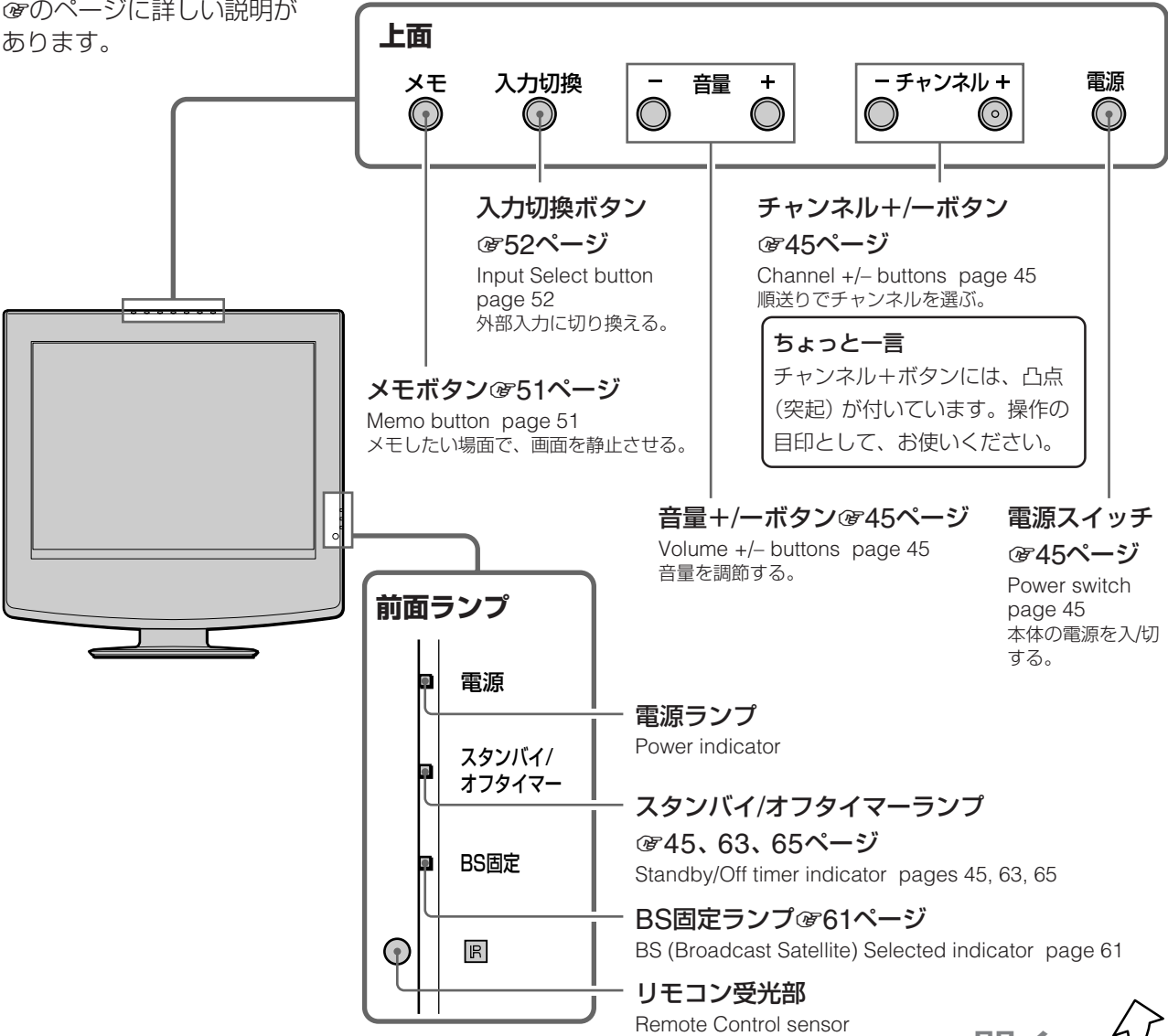
本体ボタンやリモコンボタンまたは接続端子のなまえや位置を確認するときに以下のページをお使いください。

開きだしを開くと、　3　77

開きだしを折り込むと、　2　77

それぞれのボタン操作の内容や接続方法が詳しく説明されたページへかんたんにアクセスできます。各ページの☞で示すページをご覧ください。

本体ボタン

開く

リモコンボタン

画面表示ボタン☞44ページ
Display button page 44
チャンネル表示を入/切する。

消音ボタン☞44ページ
Mute button page 44
音を一時的に消す。

メモボタン☞51ページ
Memo button page 51
メモしたい場面で、画面を静止させる。

明るさ設定ボタン☞46ページ
Brightness Mode button page 46
映像の種類や部屋の明るさにあった映像を選ぶ。

消費電力ボタン☞48ページ
Power Saving button page 48
節電モードに切り換える。

↑/↓/←/→/決定ボタン☞19ページ
↑/↓/←/→/Select buttons page 19
メニュー上で項目を選ぶときに使用する。

音量+/−ボタン☞45ページ
Volume +/– buttons page 45
音量を調節する。

二重音声ボタン*☞60ページ
Audio Mode (Bilingual) button page 60
二重音声放送時に、聞きたい音声を選ぶ。

電源ボタン☞45ページ
Power switch button page 45
本体の電源を入/切する。

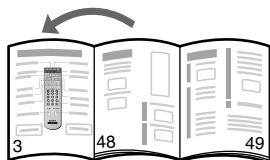
入力切換用ボタン☞52ページ
ビデオボタン
コンポーネントボタン
AVマルチボタン
Input Select buttons page 52
Video button
Component video button
AV multi button
外部入力に切り換える。

メニューボタン☞19ページ
Menu button page 19
画質/音質など各種設定をする。

オフタイマーボタン☞63ページ
Sleep button page 63
自動で電源を切る時間を設定する。

チャンネル数字ボタン*☞45ページ
Channel Number buttons page 45
チャンネルを選んだり、数字を入力するときに使用する。

チャンネル+/−ボタン*☞45ページ
Channel +/– buttons page 45
順送りでチャンネルを選ぶ。

このページを開いたままにして、ボタンの位置などを確認しながらテレビを操作すると便利です。

ちょっと一言

* 二重音声ボタンとチャンネル数字の「5」ボタンおよびチャンネル+ボタンには、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

目次

この取扱説明書でのBS放送の表記について

BS

従来からのBSアナログ放送（NHK衛星第一／第二、NHKハイビジョン、WOWOW）です。

例：BS放送、BSチャンネル、BSアンテナ、BSチューナー、BSチューナー内蔵ビデオなど

BS・110度CSデジタル

BSは2000年12月、110度CSは2002年3月に開始されたデジタル放送です。

例：BS・110度CSデジタル放送、BS・110度CSデジタルチャンネル、BS・110度CSデジタルチューナーなど

ご注意

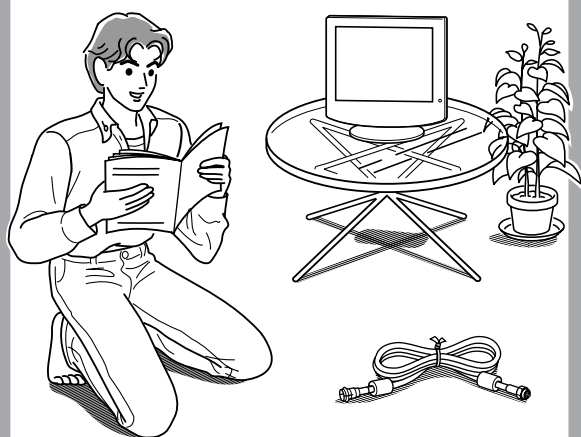
このテレビは従来のBS9チャンネル（MUSE方式）のハイビジョン放送*には対応しておりません。

* BSデジタル放送で行われるデジタルハイビジョン放送（HD放送）ではありません。

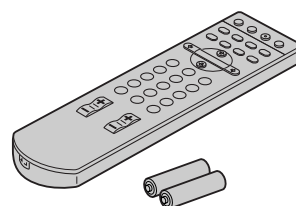
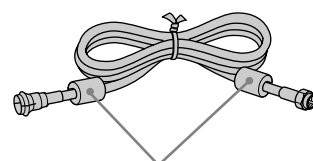
テレビの接続と準備

他機との接続

テレビの接続と準備

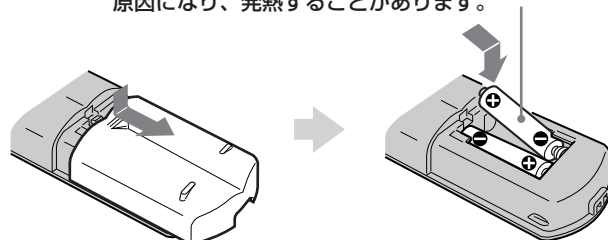
ここでは、テレビアンテナとBSアンテナのつなぎかた、およびチャンネル設定や、BS放送を見るための設定を説明しています。
手順1～5（☞12～25ページ）まで済ませれば、テレビを見ることができます。
他の機器をつないでお使いになるときは、「他機との接続」（☞28ページ）をご覧ください。

付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているかをお確かめください。

リモコン（1個）と単4形乾電池（2個）

アンテナ接続ケーブル（1本）

電源コード（1本）

取扱説明書
安全のために/安全点検チェックリスト
ソニーご相談窓口のご案内
保証書
（各1部）

リモコンに電池を入れるには

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。無理に入れたり逆に入れたりすると、ショートの原因になり、発熱することがあります。

壁にかけるまたはスタンドをつけるときは

下記の別売りアクセサリーをご使用ください。

- 液晶テレビ用壁掛けユニット（別売り）
  SU-WL11
- 液晶テレビ用壁取付金具（別売り）
  SU-W210
- 液晶テレビ用フロアスタンド（別売り）
  SU-FS200、SU-P210

各部のなまえとはたらき

本体/MainUnit

上面

メモ　入力切換　－ 音量 ＋　－ チャンネル ＋　電源

入力切換ボタン
☞52ページ
Input Select button page 52
外部入力に切り換える。

チャンネル＋/－ボタン
☞45ページ
Channel +/– buttons page 45
順送りでチャンネルを選ぶ。

ちょっと一言
チャンネル＋ボタンには、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

メモボタン☞51ページ
Memo button page 51
メモしたい場面で、画面を静止させる。

音量＋/－ボタン☞45ページ
Volume +/– buttons page 45
音量を調節する。

電源スイッチ
☞45ページ
Power switch page 45
本体の電源を入/切する。

前面ランプ

電源　スタンバイ/オフタイマー　BS固定

電源ランプ
Power indicator

スタンバイ/オフタイマーランプ
☞45、63、65ページ
Standby/Off timer indicator pages 45, 63, 65

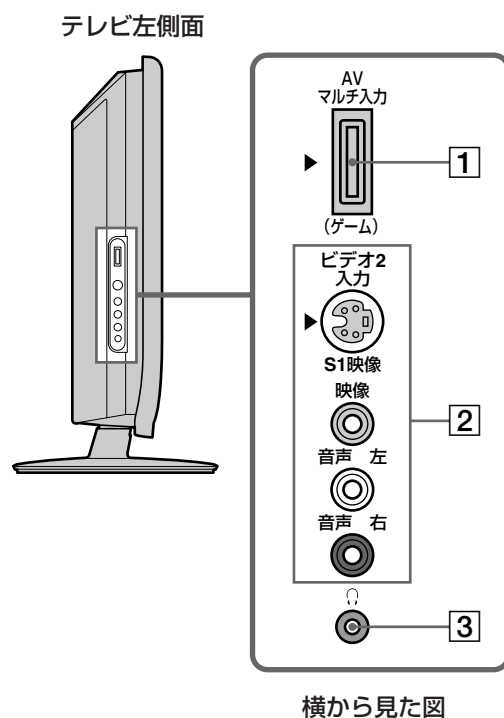
BS固定ランプ☞61ページ
BS (Broadcast Satellite) Selected indicator page 61

リモコン受光部
Remote Control sensor

リモコン/Remote Control

ちょっと一言

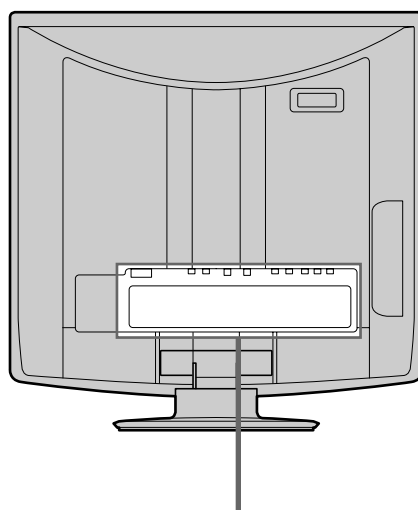
* 二重音声ボタンとチャンネル数字の「5」ボタンおよびチャンネル+ボタンには、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

接続端子

☞のページに詳しい説明があります。

1 AVマルチ入力（ゲーム）端子（☞40ページ）
別売りのマルチAVケーブル（VMC-AVM250）を使って、"プレイステーション 2"、"プレイステーション"（PS one）または"プレイステーション" のAVマルチ出力端子につなぎます。1本のケーブルで簡単に映像信号と音声信号を接続できます。

2 ビデオ2入力端子（S1映像/映像/音声）（ビデオID-1システム）（☞36、41ページ）
テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ機器およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

3 ヘッドホン端子
ヘッドホンをつなぎます。

各部のなまえとはたらき（つづき）

☞のページに詳しい説明があります。

4 AC入力100V端子（☞17ページ）
電源コードをつなぎます。

5 BS/ビデオ出力端子（映像/音声）（☞30、32、37ページ）
ビデオデッキなどのビデオ入力端子につなぎます。VHF/UHF、BS、ビデオ1〜3入力*の信号を出力します。

* ただし、ビデオ1入力の信号については、「（各種切換）」メニューの「ビデオ出力設定」で「ビデオ1あり」に設定する必要があります（☞29ページ）。
また、ビデオ3入力の信号のときは、BSデコーダー/ビデオ3入力端子をビデオ入力端子として働くように設定する必要があります（☞29ページ）。

ご注意
- BSデコーダー（WOWOW）をつないでいるときは、スクランブルを解除した信号を出力します。
- コンポーネント入力端子やAVマルチ入力端子につないだ機器の信号は出力しません。

BS固定（☞61ページ）のときのご注意
以下の信号を出力します。
- BS固定が「切」のとき：
テレビに映っている映像と音声を出力します。
- BS固定が「入」のとき：
テレビに映っている映像と音声に関係なく、BS固定したBSチャンネルの映像と音声を出力します。

⑥ 検波出力端子（☞37、38ページ）
BSデコーダー（WOWOW）などのFM検波入力端子につなぎます。

⑦ ビットストリーム出力端子（☞37、38ページ）
BSデコーダー（WOWOW）などのビットストリーム入力端子につなぎます。

⑧ BS IF入力端子（☞13、15ページ）
BSアンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。BSアンテナ用の電源を供給するため、DC15Vの直流電圧が出ています。VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

⑨ VHF/UHFアンテナ端子（☞13ページ）
VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

⑩ コンポーネント入力端子（D2映像/音声）（☞32〜35、42ページ）

D2映像入力端子[*1]
地上・BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、DVDプレーヤーなどのD映像出力端子につなぎます。
*1 D端子について詳しくは、「映像信号フォーマットについて」（☞73ページ）をご覧ください。

音声入力端子
地上・BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、DVDプレーヤーなどの音声出力端子につなぎます。

D端子について
BSデジタル放送[*2]には次のような信号フォーマットがあります。
*2 BSデジタル放送の受信には、別途、BSデジタルチューナーが必要となります。

信号フォーマット	走査線数	有効走査線数
525i（480i）	525本	480本
525p（480p）	525本	480本
1125i（1080i）	1125本	1080本
750p（720p）	750本	720本

iはインターレース：飛び越し走査、pはプログレッシブ：順次走査の略です（☞73ページ）。
（ ）内は走査線数で数えたときの別称です。

BSデジタル放送の信号フォーマットに対応するD端子の種類は次のようになっています。

D端子の種類とその対応信号フォーマット

D端子の種類	525i	525p	1125i	750p
D1端子	○	×	×	×
D2端子	○	○	×	×
D3端子	○	○	○	×
D4端子	○	○	○	○

このテレビにはD2映像入力端子がついています。
BSデジタルチューナーの出力設定については、BSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

⑪ BSデコーダー/ビデオ3入力端子（映像/音声）（ビデオID-1システム）（☞37〜39ページ）
「（BS設定）」メニューの「デコーダー/ビデオ」の設定によって、働きかたが異なります。

「デコーダー」に設定したとき（☞39ページ）
BSデコーダー入力端子として働きます。
BSデコーダー（WOWOW）の映像/音声出力端子につなぎます。

「ビデオ3」に設定したとき（☞29ページ）
ビデオ3入力端子として働きます。
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

⑫ ビデオ1入力端子（S1映像/映像/音声）（ビデオID-1システム）
（☞30〜31、33〜38、43ページ）
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

手順1：地上波アンテナをつなぐ

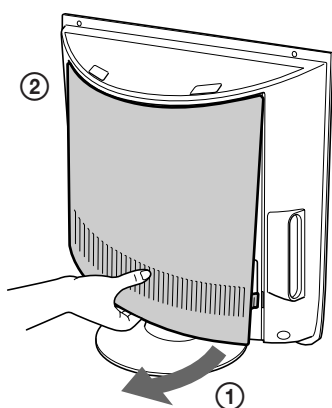
地上波アンテナを接続する前に、後面のカバーをはずしてください（すべての接続が終わったらカバーを取り付けてください）。

地上波アンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や、使うケーブルによって異なります。次のページの例から最も近いものを選んでつないでください。

いずれにも当てはまらない場合は、お買い上げ店などにご相談ください。

カバーのはずしかた

① 後面のカバーを図のようにつかみ、まず下を先に引っ張る。

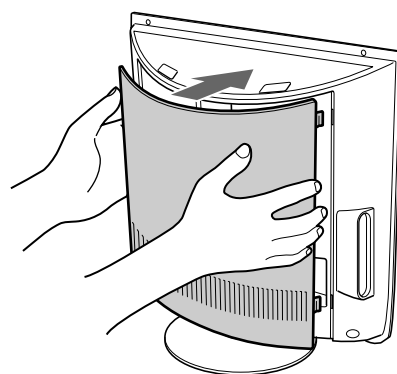
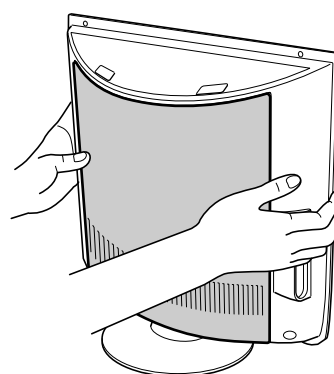
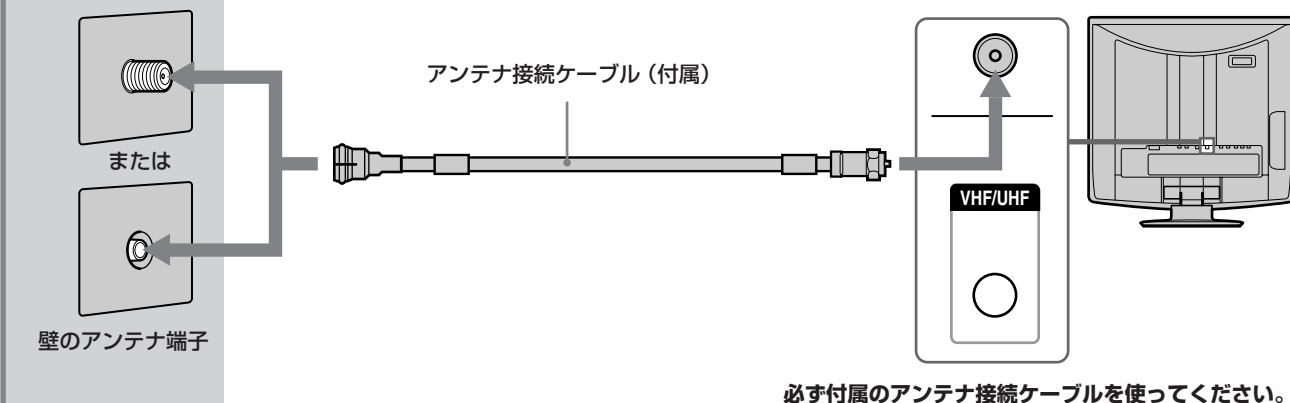
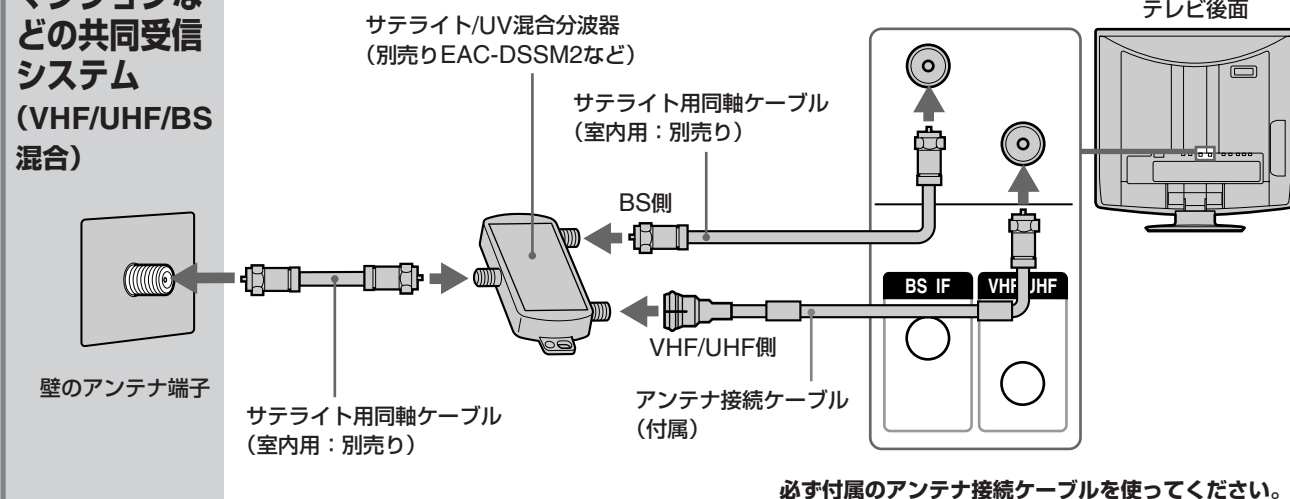
② 次に上をはずす。

ちょっと一言

カバーの下部の左右にはツメがあるため、中央よりやや左右をつかんで片側ずつ引っ張ると、はずれやすくなります。

ご注意

後面のカバーははずれやすいので、本体を持ち運ぶときはカバーのみを持たないでください。

カバーの取り付けかた

① 後面のカバーを図のように持ち、まず上の2か所の突起を本体角穴部分に合わせて押し込む。

② 次に下の2か所の突起を本体角穴部分に押し込む。

デジタルCS放送*を含めた共同受信システムのときは

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に、共同受信システム方式を確認し、その指示に従って、接続および受信方法の設定を行ってください。

* スカイパーフェクTV！のことです。110度CSデジタル放送ではありません。

きれいな画像をお楽しみいただくために

このテレビには、多くのデジタル回路による新テクノロジーが搭載されています。このため、安定した画像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、妨害電波を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- **テレビ後面のVHF/UHF端子への接続は、必ず付属のアンテナ接続ケーブルを使ってください。**
- **アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。**
- **室内アンテナ、フィーダー線は特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。**

手順1：
地上波アンテナをつなぐ（つづき）

ご注意

- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。万が一、フィーダー線をご使用になる場合は、テレビからできるだけ離してください。
- **BS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブル（室内用：別売り）をつないでください。** BS IF入力端子からはBSアンテナ用の電源（DC 15V）が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
- サテライト分配器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプ（別売りEAC-DSD12またはEAC-DSD13など）を必ずお使いください。特定の端子からのみBSアンテナ電源を供給するサテライト分配器を使うと、BSチューナー内蔵ビデオでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じます。

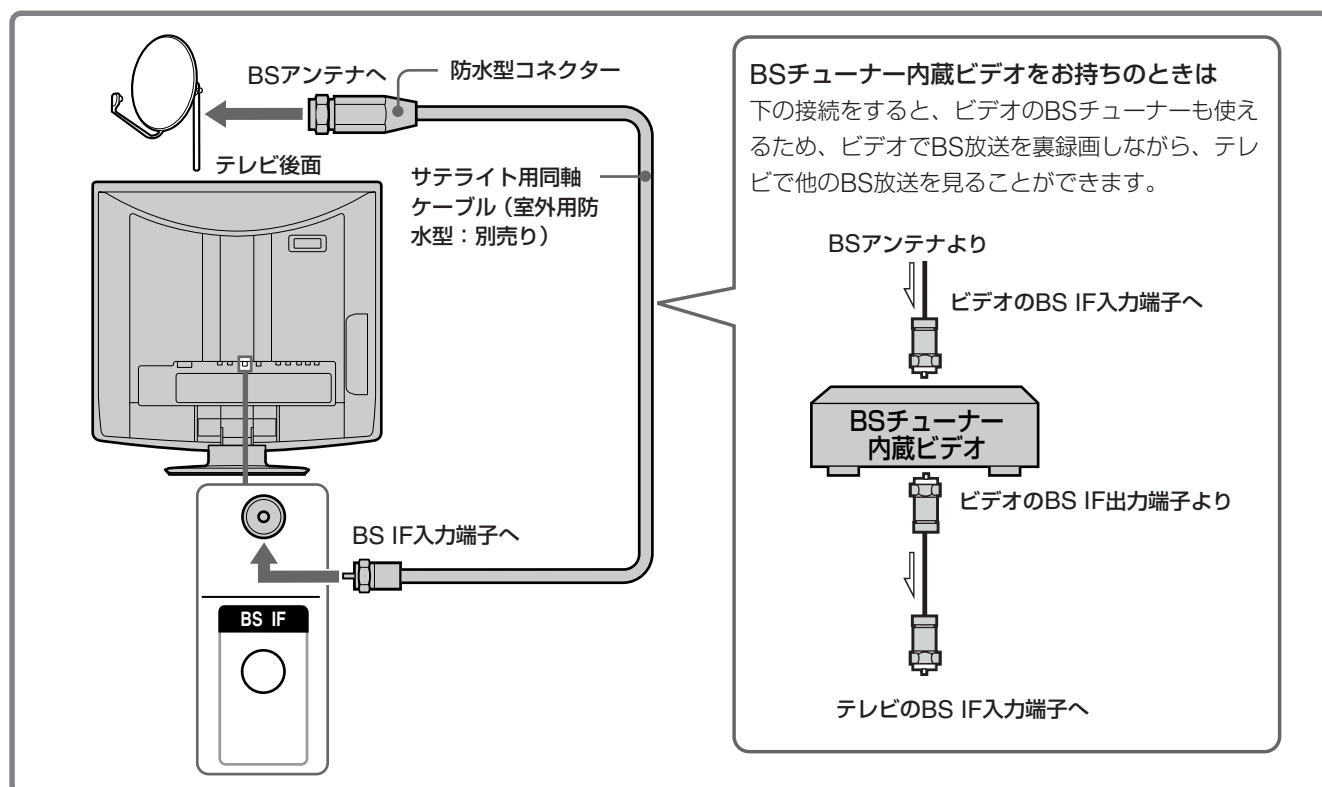
ちょっと一言

マンションなどの共同受信システムで、BS放送のアンテナレベルが低いときは、サテライトブースターをつなぐなど、信号の流れを見直す必要があります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に確認してください。

手順2：BSアンテナをつなぐ

BSアンテナをテレビに直接つなぎます。BSアンテナの設置には技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼することをおすすめします。マンションなどの共同受信システムなどVHF/UHF/BS混合のときは、☞13ページをご覧ください。

テレビの電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。

WOWOWをご利用になるときは、「BSデコーダー（WOWOW）をつなぐ」（☞37ページ）もあわせてご覧ください。

BS放送が正しく受信できないときや、「BSアンテナ電源を確認してください」という表示が出たら

「（BS設定）」メニューで「BSアンテナ電源」を「切」にします。
「BSアンテナ電源を確認してください」という表示が出たときは「（BS設定）」メニューの「BSアンテナ電源」は自動的に「切」になります。

1 いったんテレビの電源を切る。

2 以下のことを確認する。

- サテライト用同軸ケーブルの芯線が、BS IF端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。

- サテライト用同軸ケーブルをアンテナコネクターでつないでいるときは、アンテナコネクターの芯線が、BS IF端子やコネクターのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。
それでも表示が消えないときは、アンテナコネクターのふたを開けて、内部を確認してください。

3 再び電源を入れたあと、「（BS設定）」メニューで「BSアンテナ電源」を設定する（☞23ページ）。

- BSアンテナをテレビにつないでいるときは、「オート」または「連動」にする。
- マンションなどの共同受信システムのときは、「切」にする。

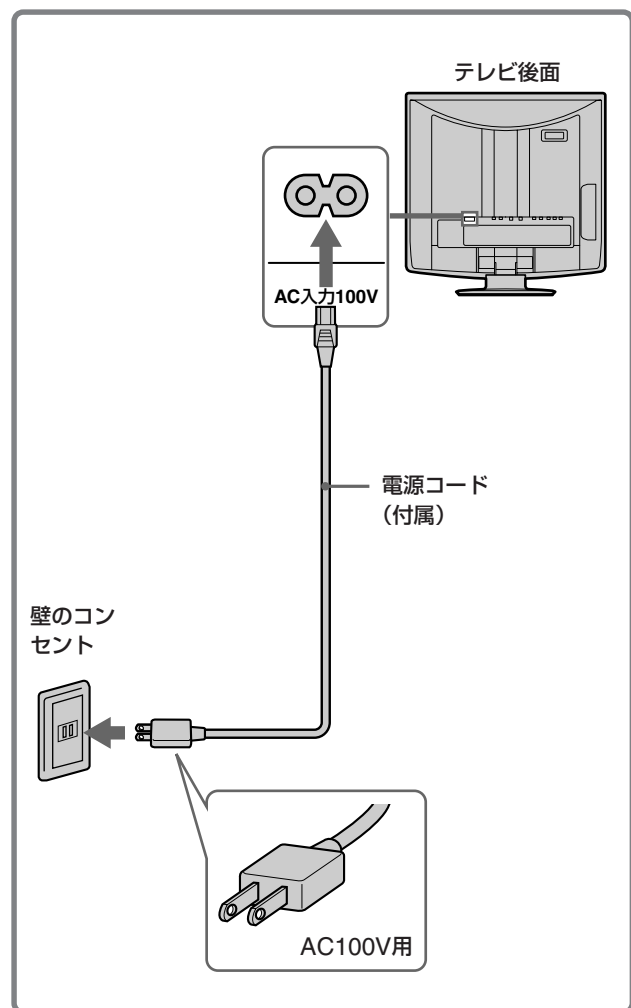
次のページにつづく

手順2：
BSアンテナをつなぐ（つづき）

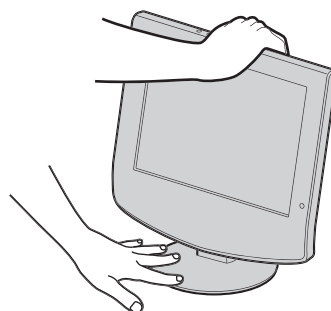
ご注意

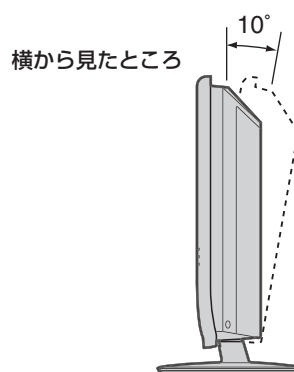
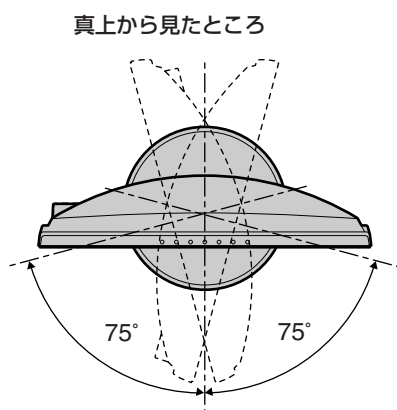
- **BS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブルをつないでください。** BS IF入力端子からはBSアンテナ用の電源（DC 15V）が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
  推奨ケーブル
  – 室外用防水型：SAK-C10/C20/C30（別売り）など
- 次のようなときはBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
  – お住まいの地域またはBSを送信する放送衛星会社の地域が雷雨、強風などの悪天候のとき
  – BSアンテナに雪が付着しているとき
  – 強風などでアンテナの向きが変わったとき（BSアンテナの向きを調整してください。☞24ページ）
- サテライト分配器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプ（別売りEAC-DSD12またはEAC-DSD13など）を必ずお使いください。
  特定の端子からのみBSアンテナ電源を供給するサテライト分配器を使うと、BSチューナー内蔵ビデオでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じます。
- BSアンテナをつなぐときは、工具を使わずに手でしっかりと締めてください。工具を使うと、端子を傷めることがあります。

手順3：電源コードをつなぐ

必ず付属の電源コードをご使用ください。

見やすい角度に調整する

本体の角度を調整できます。

ご注意
本体とスタンドの間に手や指をはさまないように動かしてください。

角度を調整するときは、スタンド部分がずれたり、浮いたりしないように手で支えて固定してください。

本体を調整する

本体を左右に調整する

左右75度まで調整できます。

手順4：チャンネルを設定する

VHF/UHF放送は、自動でも手動でも受信設定できます。はじめに自動設定することをおすすめします。

受信できるVHF/UHF放送を、①〜⑫/選局のチャンネル数字ボタンに自動的に設定する場合

自動設定する ➡ 18ページ

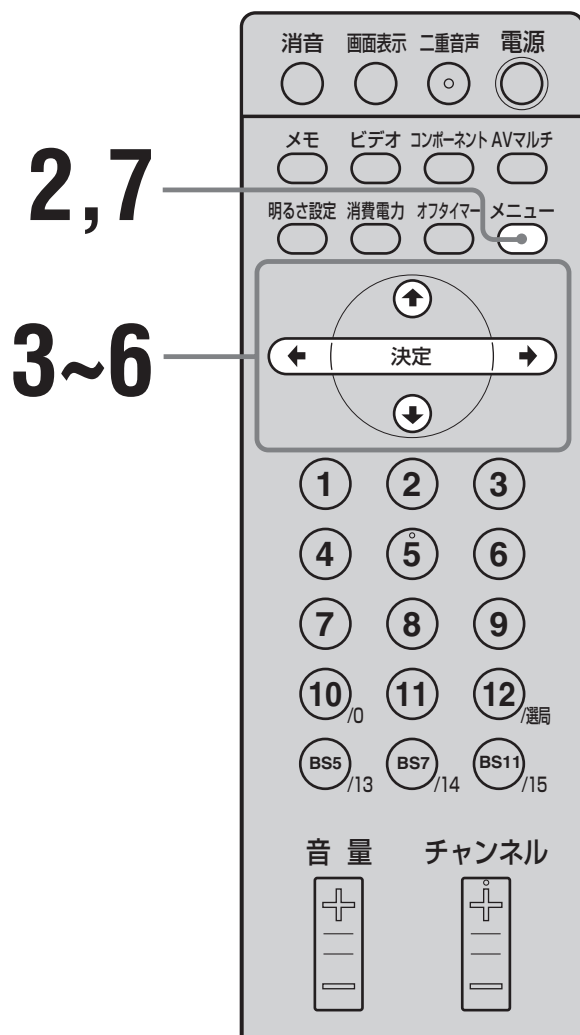
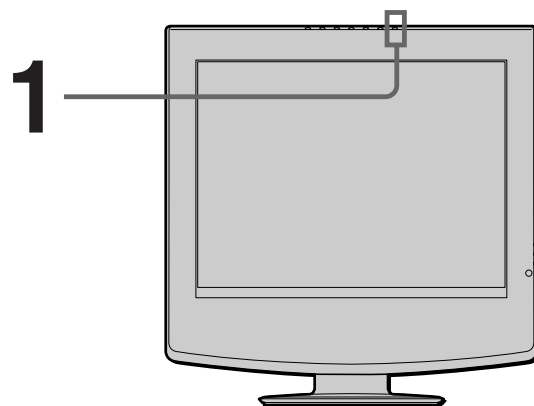
ケーブルテレビを見るには
☞20ページ

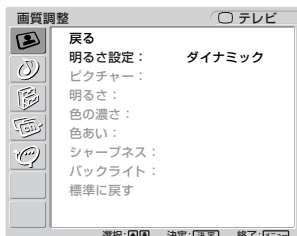
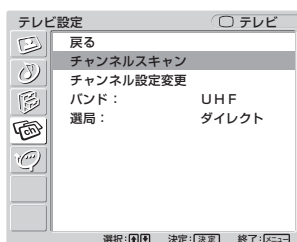
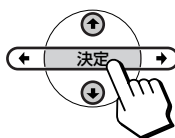
自動設定したチャンネルを変えたり、表示を書き換えたり、放送のないチャンネルをとばしたりする場合

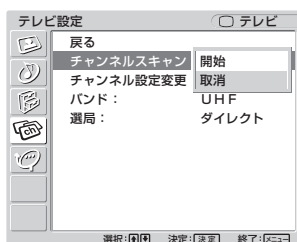
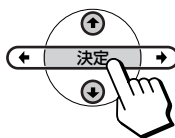
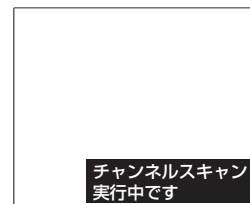
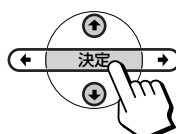
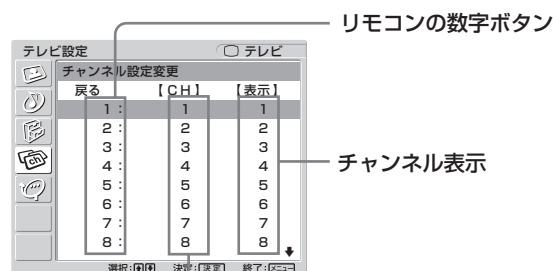
手動設定する ➡ 20ページ

- リモコンの数字ボタンに設定したチャンネルを変えるには☞20ページ
- チャンネル表示を書き換えるには☞21ページ
- 放送のないチャンネルをとばすには☞22ページ

自動設定する

受信できるVHF/UHF放送を、①〜⑫/選局のチャンネル数字ボタンに自動的に設定します。
放送のある時間帯に行ってください。BS放送はお買い上げ時に設定されています。
自動設定したチャンネルを変更したり、放送のないチャンネルをとばすときは、☞20〜22ページをご覧ください。

1 テレビ本体の電源スイッチを押して、VHF/UHF放送を映す。

2 メニューボタンを押す。

3 ⬆/⬇で「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。

4 「チャンネルスキャン」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

選ばれていないときは、⬆/⬇で選び、決定ボタンを押す。

5 ⬆/⬇で「開始」を選び、決定ボタンを押す。

「チャンネルスキャン実行中です」と表示され、自動的に設定が始まります。
設定が終わると、下のメニューに変わります。

* 地域によっては、これまでご覧になっていたチャンネル番号と異なる場合があります。

6 設定されたチャンネルを確認する。

手動で設定し直したいときは

☞20ページをご覧ください。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

チャンネル設定を途中でやめるには

手順5で「チャンネルスキャン実行中です」のメッセージが出ている間に、テレビ本体またはリモコンのボタンを押す（どのボタンを押しても途中でやめられます）。

ご注意

チャンネルスキャンを行わなかったり、チャンネルスキャン実行中に中断したりすると、消費電力または明るさ設定や画質調整機能が働かないことがあります。
そのときは、一度、チャンネルスキャンを最後まで行うと、お好きな消費電力や画質調整の設定に変更できます。

次のページにつづく

手順4：チャンネルを設定する（つづき）

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要です。なお、ケーブルテレビを受信できない地域もあります。このテレビでは、C13〜C38までのケーブルテレビチャンネルを受信できます。詳しくは、お近くのケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

1 ダイレクト選局になっていることを確認する（☞26ページ）。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ↑/↓で「（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

7 ↑/↓でケーブルテレビを映したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。

8 ↑/↓で【CH】の数字をケーブルテレビのチャンネルにし、決定ボタンを押す。
ケーブルテレビのチャンネルには、表示の前に「C」がつきます。
例：C24

9 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意
ケーブルテレビとUHF放送を同時に受信したり、チャンネル設定したりすることはできません。

手動設定する

自動設定したチャンネルを変えたり、表示を書き換えたり、放送のないチャンネルをとばすことができます。
①〜⑫/選局のチャンネル数字ボタンと、BS5/13、BS7/14、BS11/15のBSチャンネルボタンの合計15チャンネルすべてを、手動で設定できます。

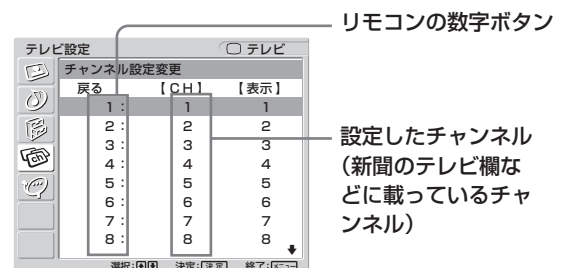
ご注意
BS5/13、BS7/14、BS11/15ボタンは、ボタン名と同じBSチャンネル用としてだけでなく、13、14、15チャンネルボタンとしても使えます。ただし、ボタン名と異なる他のチャンネルに設定し直すと、各ボタンを押しても、BS5、7、11チャンネルを直接選局できなくなります。

リモコンの数字ボタンに設定したチャンネルを変えるには

リモコンの数字ボタンに好きなチャンネルが映るように変えられます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で変更したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で【CH】の数字を変更し、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

BS固定時は「チャンネル設定変更」は選べません。

ちょっと一言

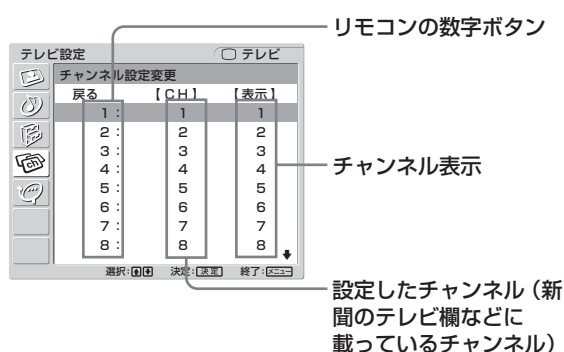
手動設定でケーブルテレビの受信の設定をするときは、「(テレビ設定)」メニューで、「バンド」を「CATV」にしてください。詳しくは、(☞20ページ)をご覧ください。

チャンネル表示を書き換えるには

画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号などに書き換えることができます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「(テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で変更したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。

5 決定ボタンまたは→を押す。

6 ↑/↓で【表示】の数字を書き換え、決定ボタンを押す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

BS固定時は「チャンネル設定変更」は選べません。

ちょっと一言

- チャンネルと表示が1対1で対応するように、チャンネル表示を書き換えてください。複数のチャンネルを同一のチャンネル表示にすることもできますが、おすすめしません。
- BS放送のチャンネル表示は書き換えられません。

次のページにつづく

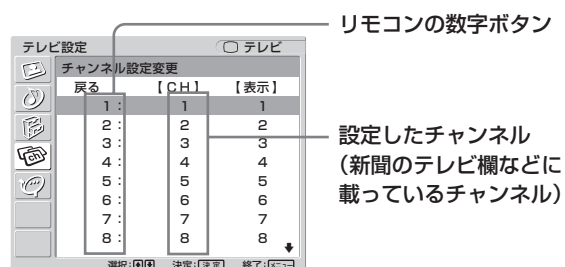
手順4：
チャンネルを設定する（つづき）

放送のないチャンネルをとばすには

チャンネル＋/－ボタンでチャンネルを選ぶときに、放送のないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定できます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ♠/♣で「[ch]（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。

3 ♠/♣で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

4 ♠/♣でとばしたいチャンネル数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。

例：5チャンネルをとばす
ときは、ここを選ぶ

5 ♠/♣で【CH】の数字を「――」に変えて、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

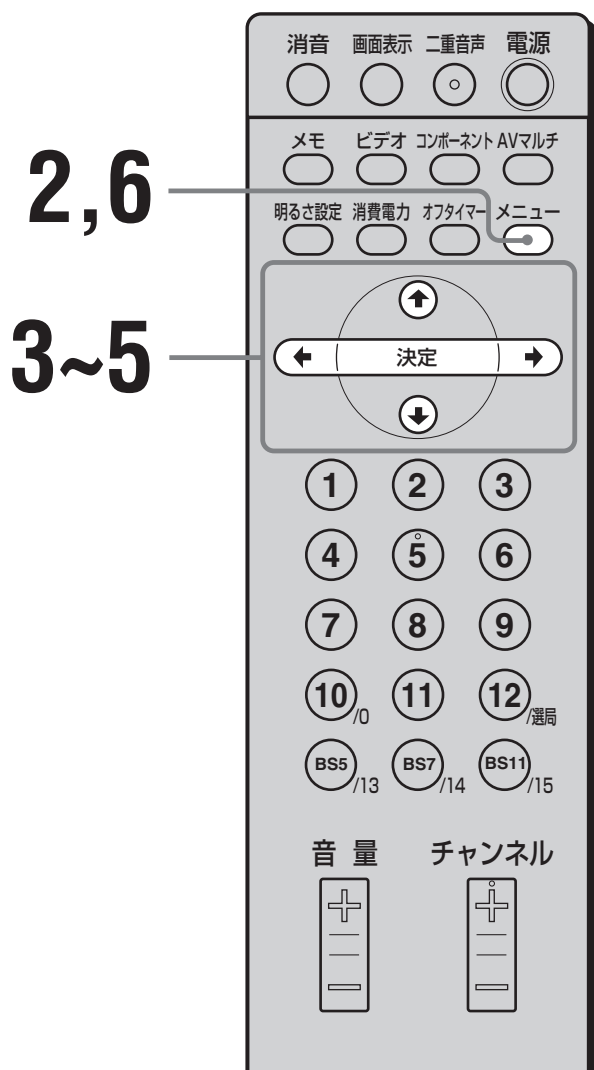
ご注意

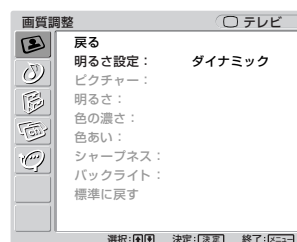
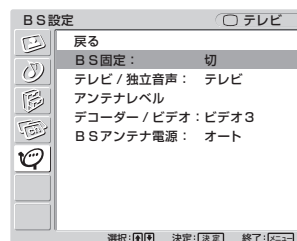
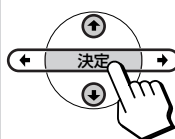
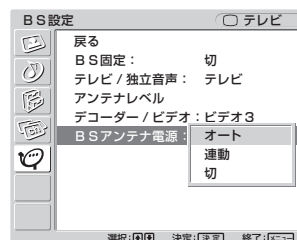
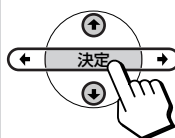
BS固定時は「チャンネル設定変更」は選べません。

手順5：BSアンテナの設定をする

BS放送を見るときは、BSアンテナ電源の設定と、BSアンテナの向きを調整してください。

BSアンテナ電源を設定する

BSアンテナのつなぎかた（マンションなどの共同受信システムか、テレビなどに直接つないでいるかなど）に合わせて、BSアンテナへの電源供給を設定します。

1 電源を入れ、BS放送を映す。

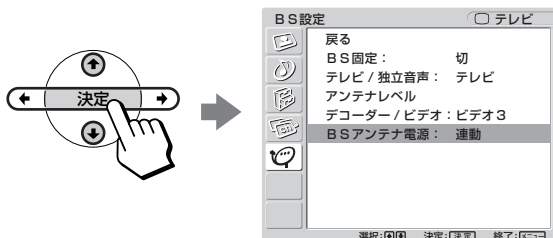
2 メニューボタンを押す。

3 ↑/↓で「(BS設定)」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「BSアンテナ電源」を選び、決定ボタンを押す。

手順5：
BSアンテナの設定をする（つづき）

5 マンションなどの共同受信システムのときは

↑/↓で「切」を選び、決定ボタンを押す。

BSアンテナをつないでいるときは

↑/↓で「オート」または「連動」を選び、決定ボタンを押す。

設定	BSアンテナへの電源供給のしかた
オート（お買い上げ時の設定）	テレビの電源が入っているときに、テレビがBSアンテナ電源を供給するかどうかを自動的に判断する。テレビの電源が切れているときは供給しない。
連動	テレビの電源が入っているときは常に電源を供給する。テレビの電源が切れているときは供給しない。
切	電源を供給しない。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

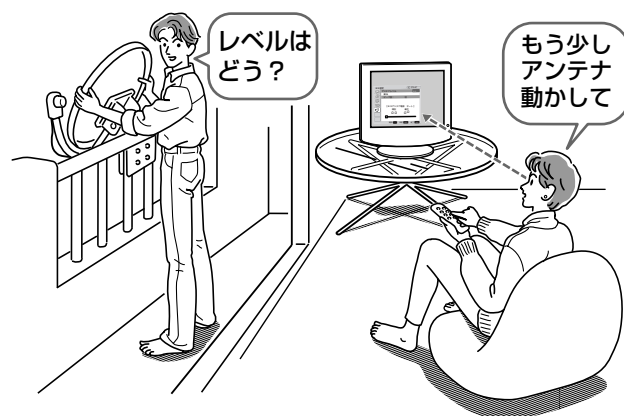
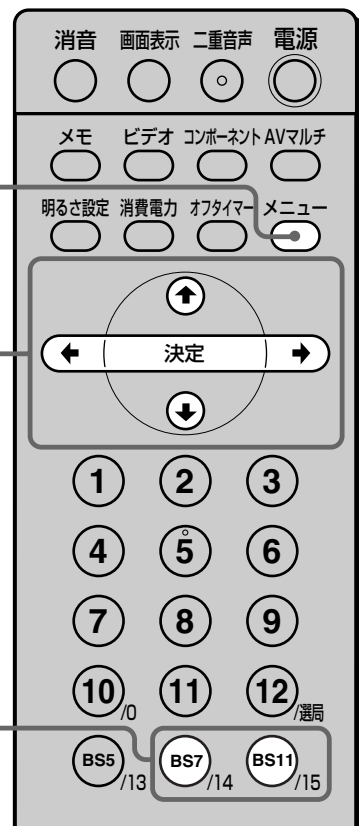
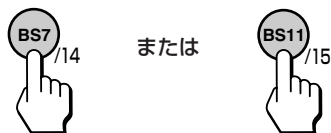
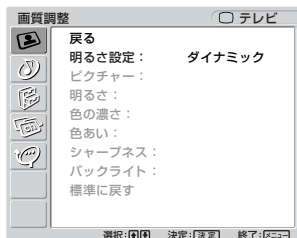
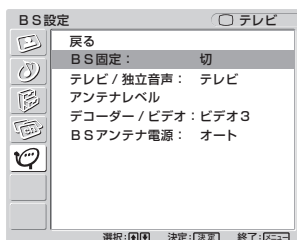
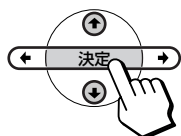
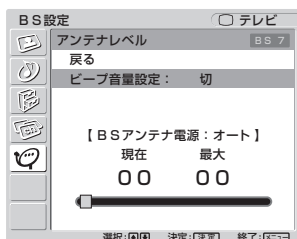
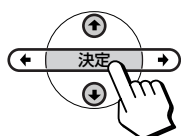
ご注意

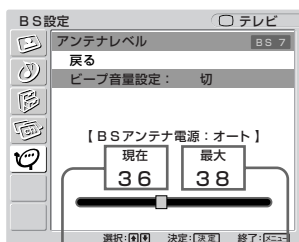
- 「オート」にしていても、BSアンテナの電源供給システムによっては、うまく働かないことがあります。このときは「連動」にしてください。
- 1本のBSアンテナに分配器などをつないでBS電波を分け、このテレビと他のテレビやビデオ機器の両方でBSを受信できるようにしているときは、このテレビを「オート」に、他の機器を「連動」にしてください。このようにしないと、テレビの電源を切ると他のテレビやビデオ機器からBSアンテナに電源が供給されないことがあります。他の機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

BSアンテナの向きを調整する

BSアンテナをテレビに直接つないだときは、アンテナの向きを2人で調整します。1人がテレビ画面の画像とレベル表示を見て、もう1人がレベル表示が最大になるように、BSアンテナを動かしながら調整します。
向きや角度についてはBSアンテナの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

「BSアンテナ電源」が「切」になっているときは、「BSアンテナ電源」を「オート」または「連動」にしてください（☞23ページ）。

1 電源を入れ、BS7またはBS11を押してBS放送を映す。

2 メニューボタンを押す。

3 ↑/↓で「(BS設定)」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。

5 BSアンテナを動かして調整する。

受信中のアンテナレベルが、できるかぎり最大の数値になるように、アンテナの向きを調整し固定します。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

音を聞いて調整するには

画面で確認できないときに便利です。

1. 手順4のあと、↑/↓で「ビープ音量設定」を選び、決定ボタンを押す。
2. ↑/↓で確認できる音量（1〜10）を選び、決定ボタンを押す。
3. 手順5で連続した最も高い音になるよう、BSアンテナを調整する。

ご注意

以下のときは、音を聞いて調整できません。

- BS固定中（☞61ページ）
- 「デコーダー/ビデオ」の設定を「デコーダー」にしているとき（☞29ページ）

ちょっと一言

1つのBSチャンネルで調整すれば、他のBSチャンネルの調整は不要です。

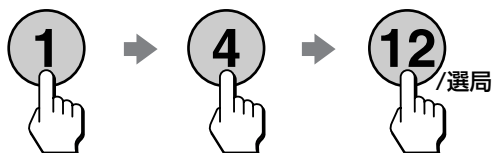
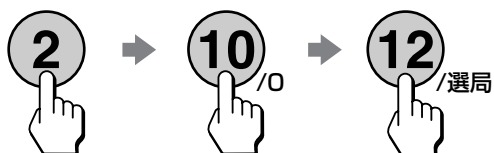
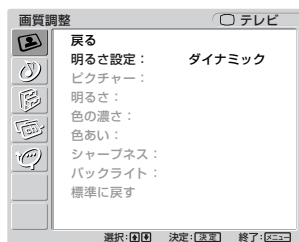
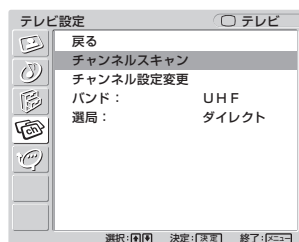
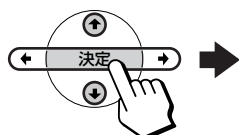
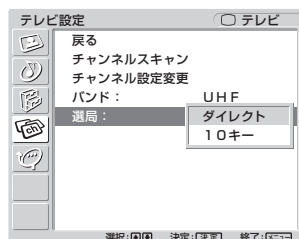
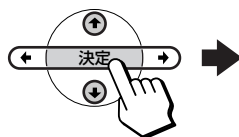
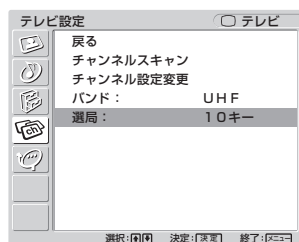
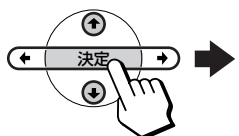
数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ [10キー選局]

お買い上げ時は「ダイレクト選局」になっています。
「ダイレクト選局」は、リモコンの数字ボタンと同じチャンネルが映る選局方法で、受信できるチャンネル数は最大15局です。

そのため、ケーブルテレビなど見たいチャンネルの数が15局を越えるときは、「10キー選局」に変えてください。
「10キー選局」では、数字ボタンを十の位・一の位の順に押したあと、⑫/選局を押して、チャンネルを選びます。0は⑩/0を使います。

ちょっと一言

- BS放送は、「10キー選局」に変えても、リモコンのBS5～11ボタンを押して、直接選べます。
- ⑫/選局 を押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。

例）14チャンネル

20チャンネル

1 メニューボタンを押す。

2 ♠/♣で「(テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ♠/♣で「選局」を選び、決定ボタンを押す。

4 ♠/♣で「10キー」を選び、決定ボタンを押す。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ダイレクト選局に戻すには

手順4で「ダイレクト」を選ぶ。

ご注意

- 「10キー選局」のときはチャンネル表示の書き換えはできません。
- チャンネルを自動設定する（☞18ページ）ときは、ダイレクト選局に戻してから行ってください。
- ケーブルテレビのときは、手順2のあとに下記の操作をしてください。
  1 ♠/♣で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
  2 ♠/♣で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
  3 手順3以降を行う。

チャンネル+/−ボタンで選ぶ放送を設定するには

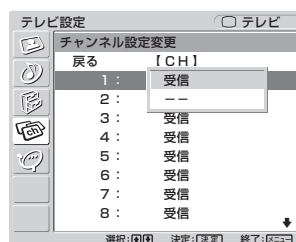
お買い上げ時は1～12チャンネルとBS5、BS7、BS11が順に選ばれるように設定されています。ケーブルテレビなどでこれ以外のチャンネルを選ぶときや、放送がないチャンネルをとばすときは、次のように設定します。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ♠/♣で「(テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。

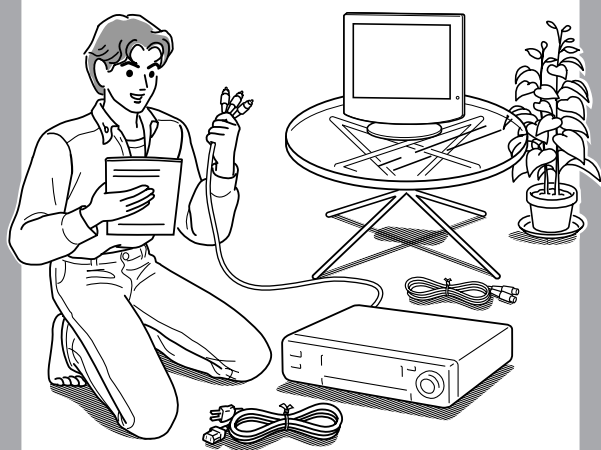
3 ♠/♣で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

4 ♠/♣で見たいチャンネル、またはとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

5 ♠/♣で見たいチャンネルのときは「受信」を、とばしたいチャンネルのときは「−−」を選び、決定ボタンを押す。

6 複数のチャンネルを設定するときは、手順4と5をくり返す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

他機との接続

ここでは、ビデオ機器など他の機器のつなぎかたについて説明しています。
接続端子のなまえとはたらきについては☞9～11ページをご覧ください。テレビを見るための接続と準備については、「テレビの接続と準備」（☞6～27ページ）をご覧ください。

ビデオなどをつなぐ

ビデオ機器、ハードディスクレコーダー、またはDVDレコーダーなどをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

S1映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

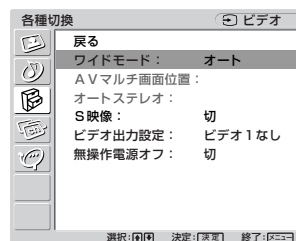
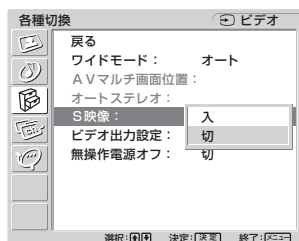
よりよい画質でご覧いただくために、S1映像端子につないでください。
つなぐ機器にS映像端子がない場合は、映像端子につなぎます。

テレビのビデオ1、2入力のS1映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときは

ビデオの映像信号をどちらの端子から入力するかを、メニュー画面で設定できます。お買い上げ時は、S1映像入力端子から入力された画像が映ります。

1 **ビデオボタンをくり返し押して、切り換えたいビデオ入力を選ぶ。**

2 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

3 **↑/↓で「（各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。**

4 ↑/↓で「S映像」を選び、決定ボタンを押す。

5 **S1映像入力端子から入力された画像を見るときは**

↑/↓で「入」を選び、決定ボタンを押す。

映像入力端子から入力された画像を見るときは

↑/↓で「切」を選び、決定ボタンを押す。

6 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

BSデコーダー/ビデオ3入力端子にBSデコーダー（WOWOW）またはビデオ機器などをつなぐときは

お買い上げ時は、ビデオ3入力端子として働くように設定されているため、ビデオ機器などをつなぐときは設定し直す必要はありません。

デコーダー入力端子としてBSデコーダー（WOWOW）をつなぐときは「デコーダー」に、そのあとビデオ機器などをつなぐときは「ビデオ3」に切り換えてください。

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **↑/↓で「（BS設定）」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「デコーダー/ビデオ」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「ビデオ3」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ビデオ1入力の信号をBS/ビデオ出力端子から出力するときは

お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号は、BS/ビデオ出力端子から出力されないようになっています。テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは再生機をビデオ2、3入力端子のいずれかにつないでください（ただし、ビデオ3入力につなぐときは、BSデコーダー/ビデオ3入力をビデオ3入力端子として働くように設定が必要です）。

ビデオ1入力の映像や音声をBS/ビデオ出力端子につないだビデオ機器などで楽しむときは、以下の設定をしてください。ビデオ1入力端子につないだ機器の映像および音声がBS/ビデオ出力端子から出力されます。

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **↑/↓で「（各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「ビデオ出力設定」を選び、決定ボタンを押す。**

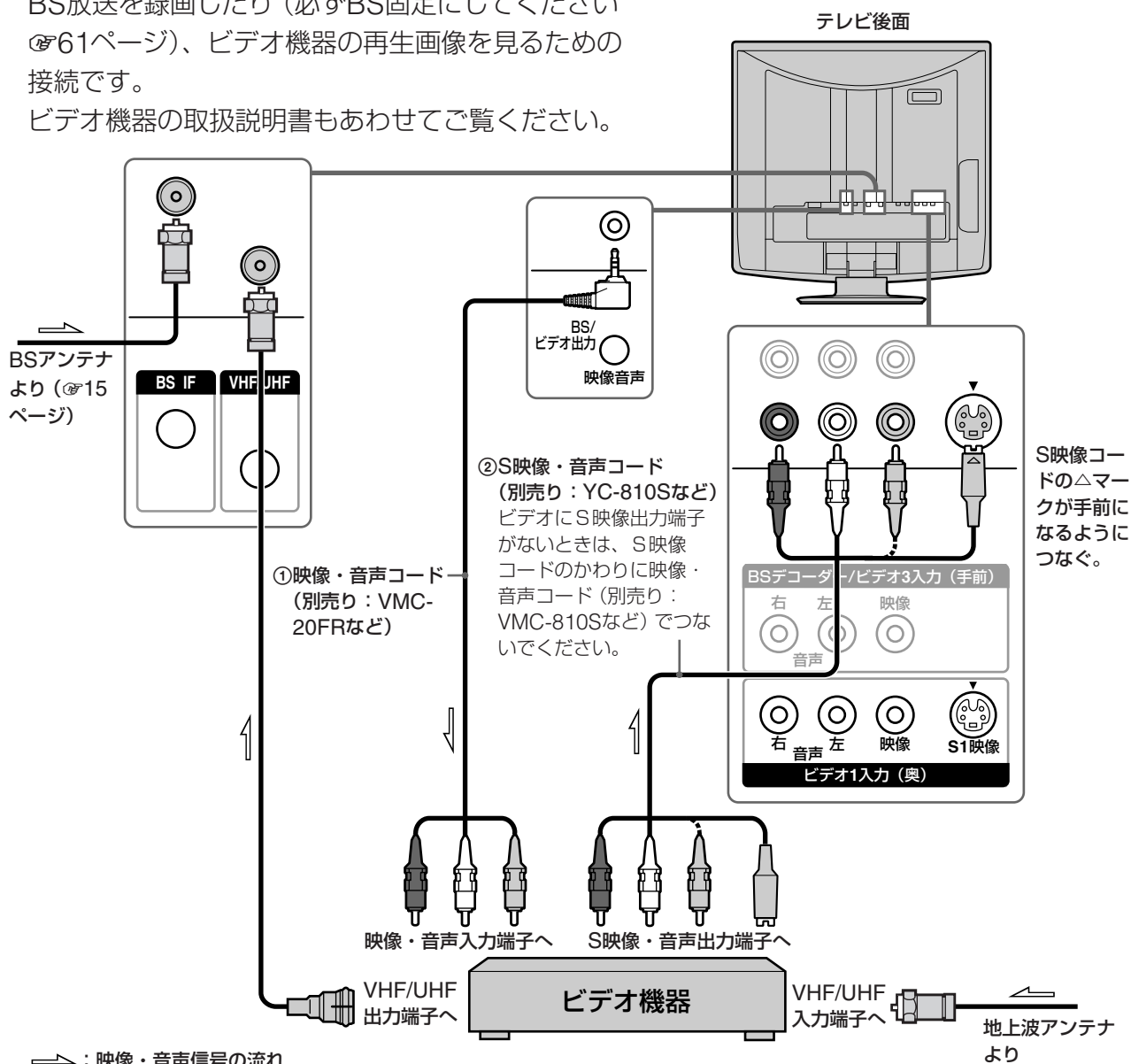
4 **↑/↓で「ビデオ1あり」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

次のページにつづく

ビデオなどをつなぐ（つづき）

BSチューナーのないビデオ機器のとき

BS放送を録画したり（必ずBS固定にしてください☞61ページ）、ビデオ機器の再生画像を見るための接続です。
ビデオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

①BS放送をビデオに録画するための接続です（☞61ページ）。

②ビデオなどの再生画像を見るための接続です（☞52ページ）。

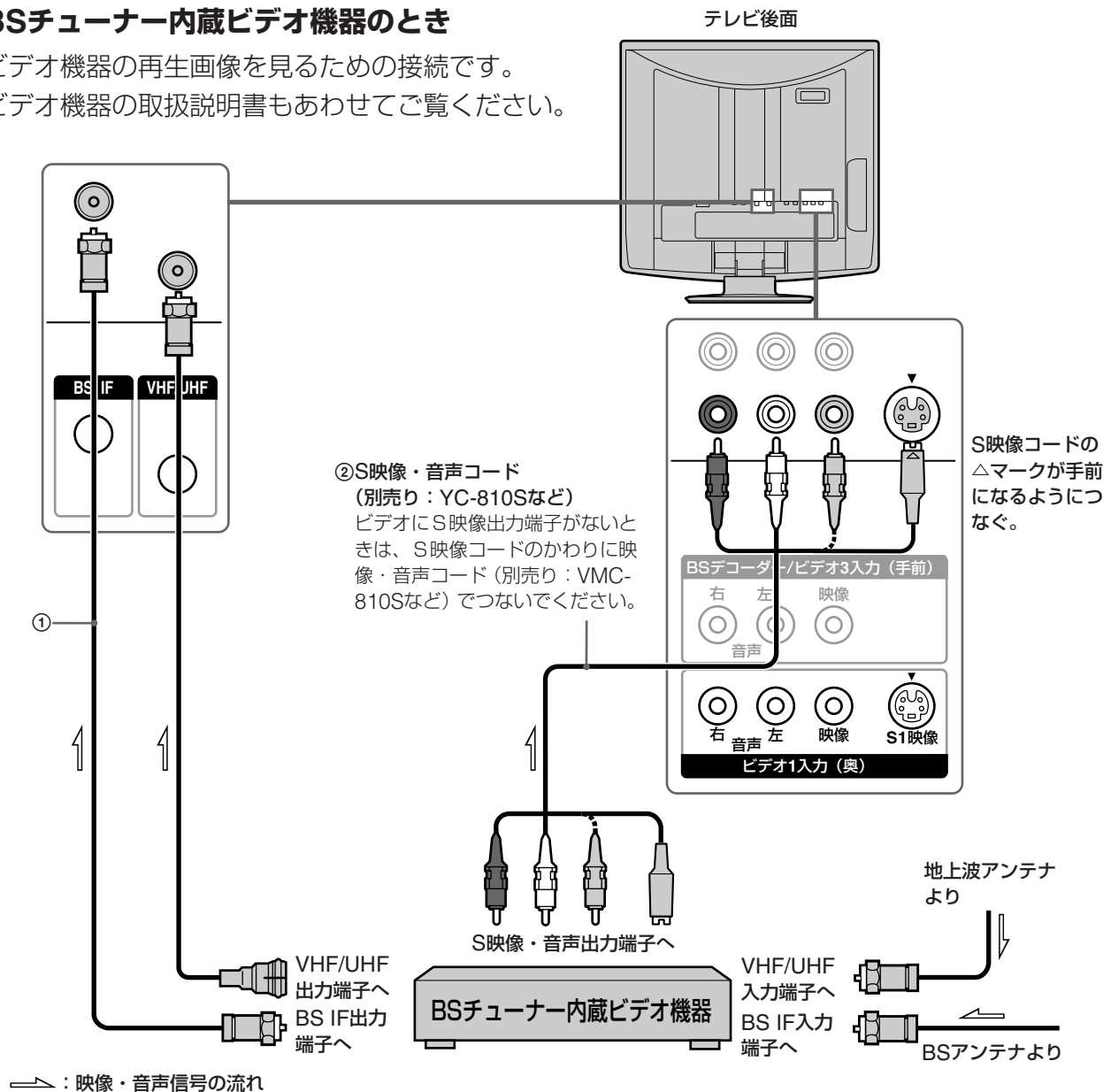
ビデオなどを見るには

ビデオボタンをくり返し押して、ビデオ機器をつないだビデオ1入力（「ビデオ1」）を表示させる。
詳しくは、☞52ページをご覧ください。

ご注意

- BS放送を録画するときは、BS固定をしてください（☞61ページ）。BS固定をすると、ビデオ機器をつないだ端子のビデオ入力を選んで、録画している画像を確認し、テレビで受信しているBS放送がビデオに正しく録画されているかをチェックできます。
  BS固定をしないと、チャンネルを選んだときなどに画像が乱れることがあります。
- テレビをモニターとして使い、ビデオ機器で編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたビデオ2、またはBSデコーダー/ビデオ3入力端子につないでください。お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はBS/ビデオ出力端子から出力されない設定になっているためです（☞29ページ）。

BSチューナー内蔵ビデオ機器のとき

ビデオ機器の再生画像を見るための接続です。
ビデオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

①テレビとビデオ機器の両方のBSチューナーを使うときの接続です。ビデオ内蔵のBSチューナーでBS放送を受信し裏録画しながら、テレビ内蔵のBSチューナーで他のBS放送を見ることができます。

②ビデオの再生画像を見るための接続です（☞52ページ）。

ビデオなどを見るには

ビデオボタンをくり返し押して、ビデオ機器をつないだビデオ1入力（「ビデオ1」）を表示させる。

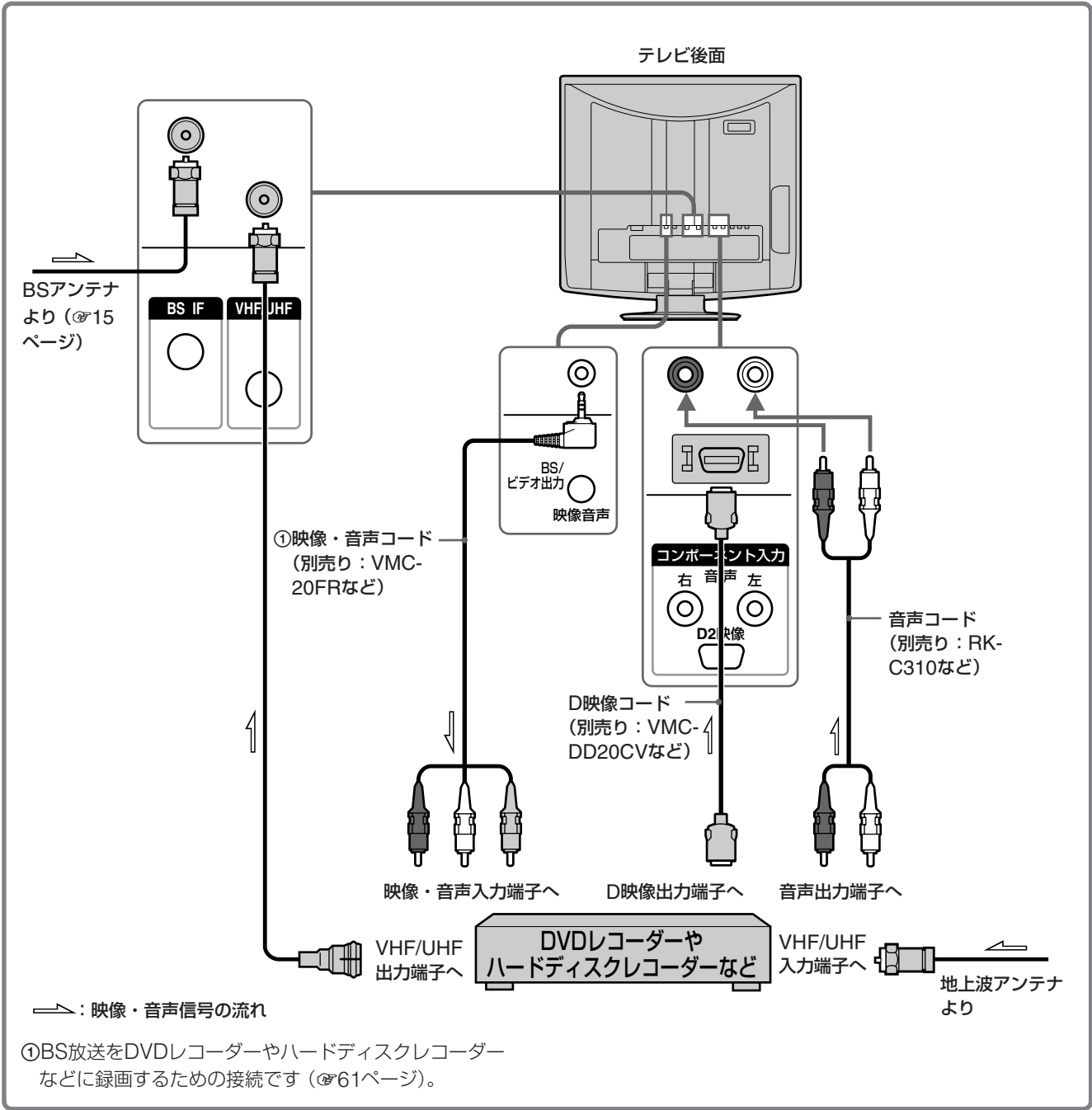
詳しくは、☞52ページをご覧ください。

ご注意

テレビをモニターとして使い、ビデオ機器で編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたビデオ2、またはBSデコーダー/ビデオ3入力端子につないでください。お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はBS/ビデオ出力端子から出力されない設定になっているためです（☞29ページ）。

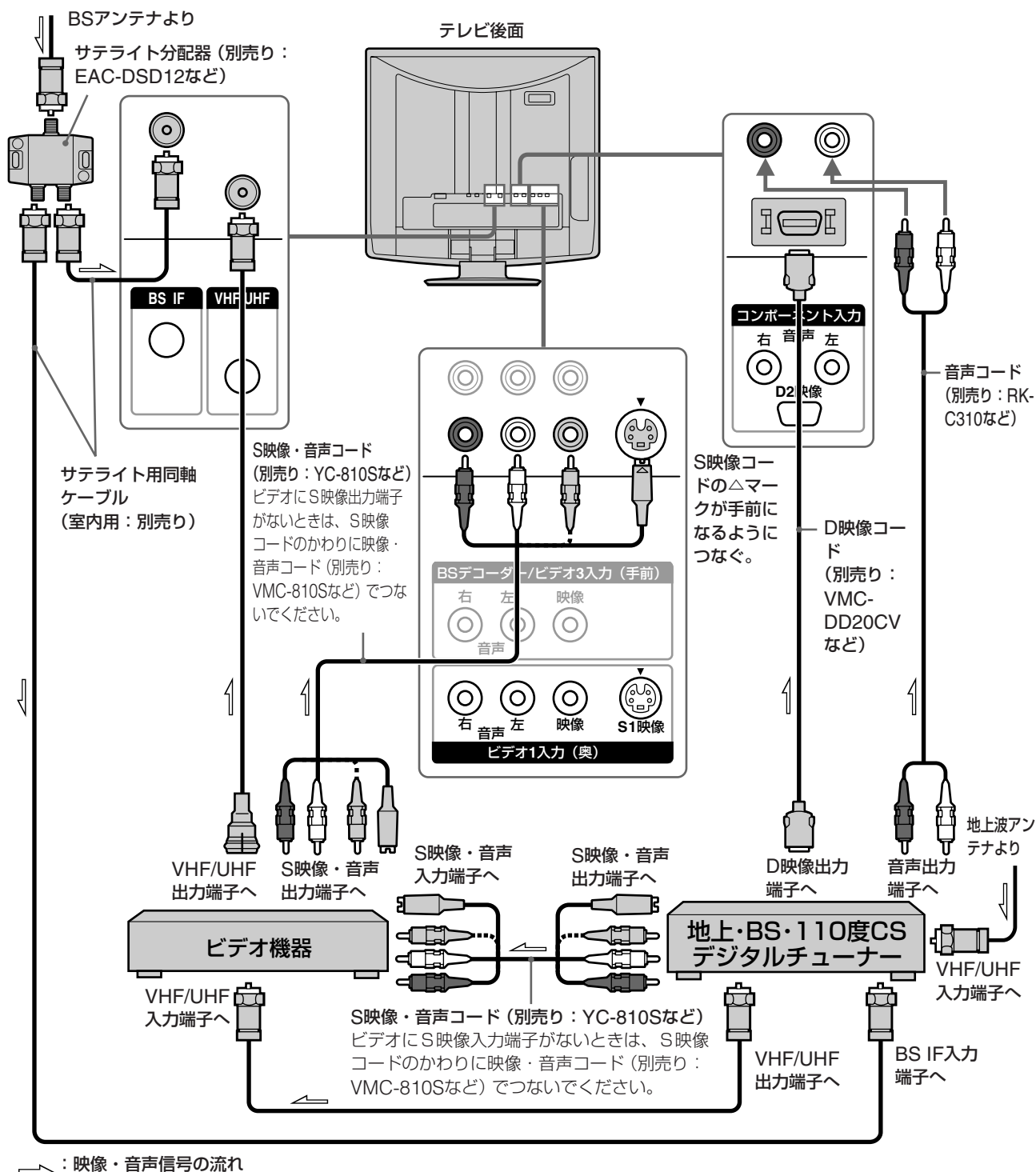
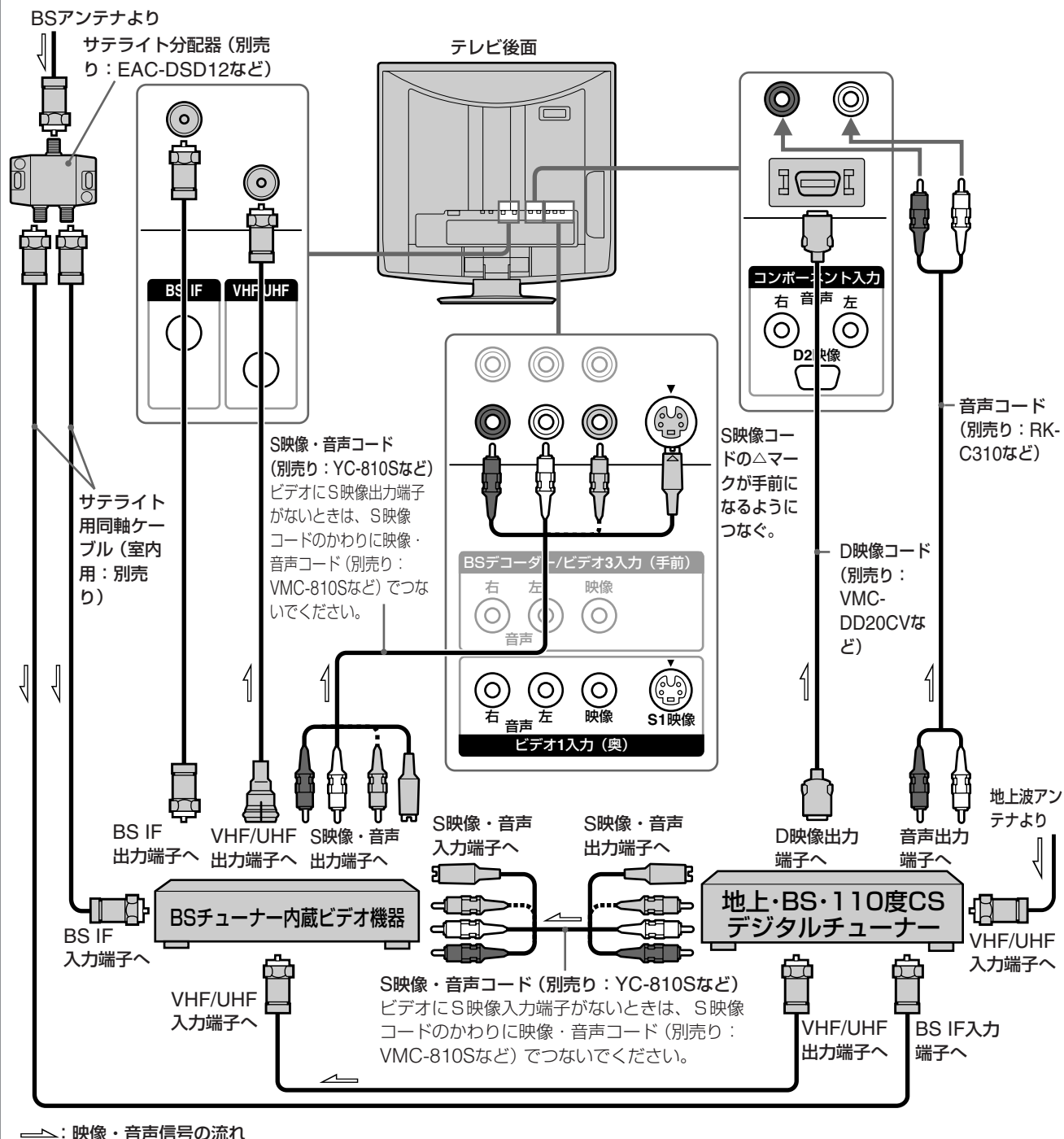
DVDレコーダーやハードディスクレコーダーなどをつなぐ

DVDレコーダーやハードディスクレコーダーまたはそれらが複合した機器などをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

①BS放送をDVDレコーダーやハードディスクレコーダーなどに録画するための接続です（☞61ページ）。

つないだ機器の映像を見るには

コンポーネントボタンを押して、DVDレコーダーやハードディスクレコーダーをつないだコンポーネント入力（「コンポーネント」）を表示させる。
詳しくは、☞52ページをご覧ください。

地上・BS・110度CSデジタルチューナーをつなぐ

地上・BS・110度CSデジタル放送を見るには、地上・BS・110度CSデジタルチューナーが必要です。また、110度CSデジタル放送を見るには、110度CSデジタル放送に対応したアンテナや分配器などが必要です。地上・BS・110度CSデジタルチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

BSチューナーのないビデオのとき

地上・BS・110度CSデジタル放送を見るには

コンポーネントボタンを押して、地上・BS・110度CSデジタルチューナーをつないだコンポーネント入力（「コンポーネント」）を表示させる。
詳しくは、☞52ページをご覧ください。

ご注意

- このテレビにはD2映像入力端子がついています。地上・BS・110度CSデジタルチューナー側でD2端子に合った設定にしてください。
- 地上・BS・110度CSデジタルチューナー側のテレビ選択の設定を「4:3ワイドモード」や「16:9」など、このテレビに合わせた設定にし、テレビのメニューのワイドモードは「オート」（お買い上げ時の設定）でお使いください。
詳しくは、地上・BS・110度CSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

デジタルCSチューナーをつなぐ

デジタルCS放送*を見るには、デジタルCS放送局と受信契約が必要です。詳しくはデジタルCS放送局へお問い合わせください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

* スカイパーフェクTV！のことです。110度CSデジタル放送ではありません。

D映像出力端子のあるデジタルCSチューナーのとき

テレビ後面

VHF/UHF

コンポーネント入力
右 音声 左
D2映像

S映像・音声コード（別売り：YC-810Sなど）
ビデオにS映像出力端子がないときは、S映像コードのかわりに映像・音声コード（別売り：VMC-810Sなど）でつないでください。

S映像コードの△マークが手前になるようにつなぐ。

BSデコーダー/ビデオ3入力（手前）
右 左 映像
音声

右 音声 左 映像 S1映像
ビデオ1入力（奥）

音声コード（別売り：RK-C310など）

D映像コード（別売り：VMC-DD20CVなど）

VHF/UHF出力端子へ
S映像・音声出力端子へ
S映像・音声入力端子へ
S映像・音声出力端子へ
D映像出力端子へ
音声出力端子へ

ビデオ機器
デジタルCSチューナー

地上波アンテナより
VHF/UHF入力端子へ

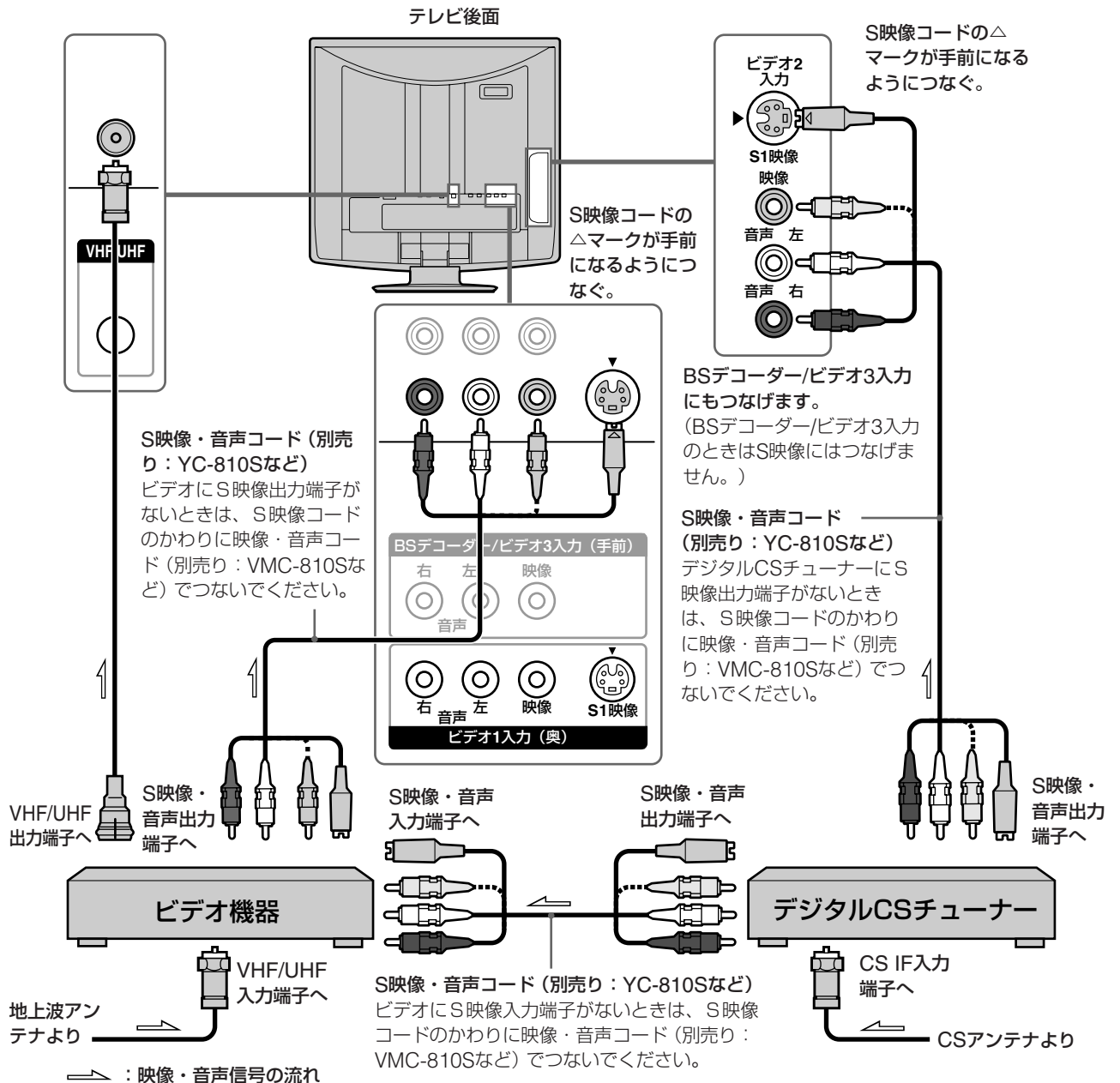
S映像・音声コード（別売り：YC-810Sなど）
ビデオにS映像入力端子がないときは、S映像コードのかわりに映像・音声コード（別売り：VMC-810Sなど）でつないでください。

CS IF入力端子へ
CSアンテナより

⇨：映像・音声信号の流れ

デジタルCS放送を見るには

コンポーネントボタンを押して、デジタルCSチューナーをつないだコンポーネント入力（「コンポーネント」）を表示させる。
詳しくは、☞52ページをご覧ください。

デジタルCSチューナーをつなぐ（つづき）

デジタルCS放送を見るには

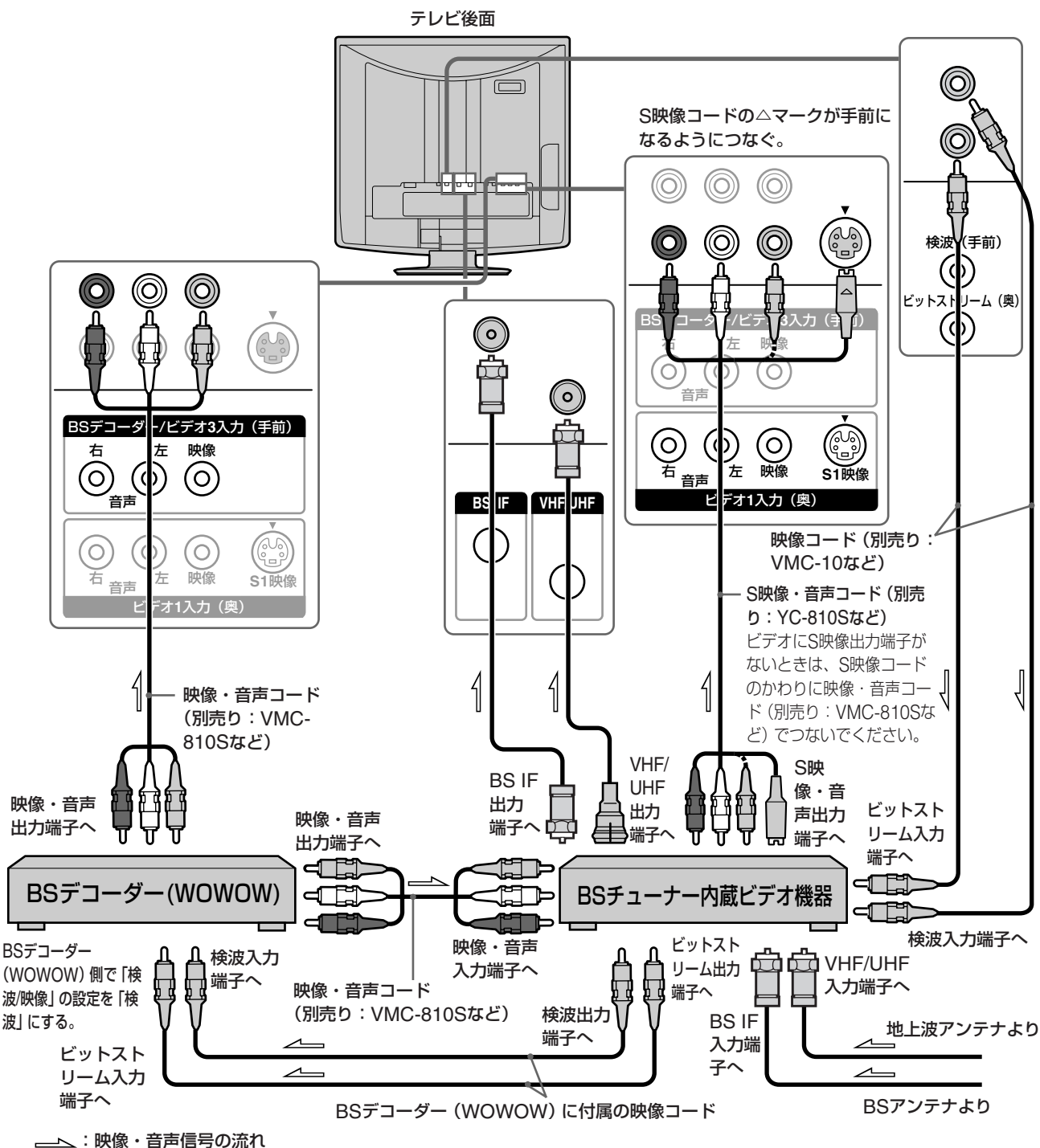
ビデオボタンをくり返し押して、デジタルCSチューナーをつないだビデオ入力（「ビデオ2」、「ビデオ3」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞52ページをご覧ください。

BSデコーダー（WOWOW）をつなぐ

WOWOWを見るには、WOWOWとの受信契約が必要です。詳しくは、WOWOWへお問い合わせください。WOWOWを見るには、☞39ページをご覧ください。
WOWOWと受信契約をすると送られてくるBSデコーダー（WOWOW）の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- WOWOWを録画するときは、テレビ側でWOWOWを受信し、録画してください。
- WOWOWも含めたBS放送を録画するときは、BS固定をしてください（☞61ページ）。BS固定をすると、ビデオをつないだ端子のビデオ入力を選んで、録画している画像を確認し、テレビで受信しているBS放送がビデオに正しく録画されているかをチェックできます。BS固定をしないと、チャンネルを選んだときなどに、画像が乱れることがあります。
- BSデコーダー（WOWOW）は、必ずテレビのBSデコーダー/ビデオ3入力端子につないでください。BSデコーダー/ビデオ3入力端子以外につなぐと、チャンネルボタン（BS5/13）を押しても選局できません。

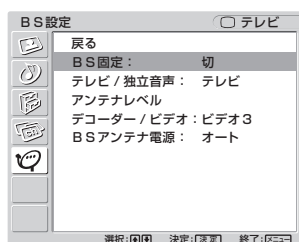
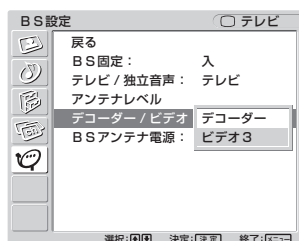
BSデコーダー（WOWOW）をつなぐ（つづき）

ご注意

- WOWOWを録画するときは、ビデオ機器側でWOWOWを受信し、録画してください。
- ソニー以外のBSチューナー内蔵ビデオ機器の中には、上記の接続でWOWOWを録画できないビデオ機器があります。そのときは、ビデオ機器のメーカーのお客様窓口へご相談ください。
- BSデコーダー（WOWOW）は、必ずテレビのBSデコーダー/ビデオ3入力端子につないでください。BSデコーダー/ビデオ3入力端子以外につなぐと、チャンネルボタン（BS$_{13}$）を押しても選局できません。

BSデコーダー/ビデオ3入力端子にBSデコーダー（WOWOW）をつなぐときは

お買い上げ時は、ビデオ3入力端子として働くように設定されているため、**必ず設定し直してください。**

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **↑/↓で「（BS設定）」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「デコーダー/ビデオ」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「デコーダー」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

WOWOWを見るには

BSデコーダー（WOWOW）の電源を入れて、テレビのリモコンのBS5/13を押す。

独立音声放送を聞くには

BSデコーダー（WOWOW）をつないでいるときに独立音声放送を聞くときは、BSデコーダー（WOWOW）側で、音声を独立音声に切り換えてください（テレビで音声は切り換えられません）。ただし、独立音声放送を聞くには、WOWOWとは別に受信契約が必要です（ノンスクランブル放送のときを除く）。
また、BSデコーダー（WOWOW）をつながなくても、独立音声放送がノンスクランブル放送をしているときは、下記の操作を行うと独立音声放送を聞くことができます。

1 **テレビのリモコンのBS5/13を押す。**

2 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

3 **↑/↓で「（BS設定）」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「テレビ/独立音声」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で「独立」を選び、決定ボタンを押す。**

6 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

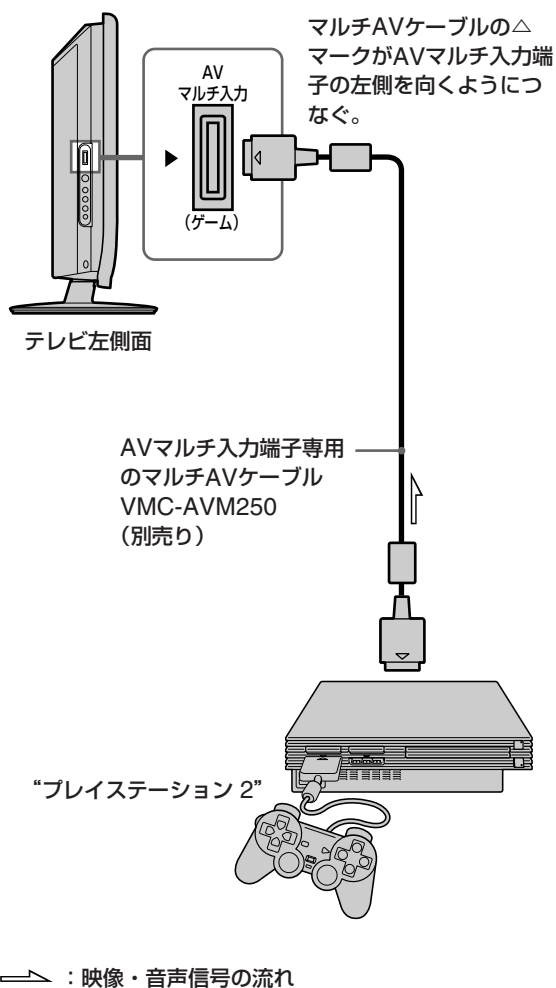
“プレイステーション 2” などをつなぐ

“プレイステーション 2”、
“プレイステーション ”（PS one）および
“プレイステーション ” の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意
“プレイステーション 2” の一部の機種では、マルチAVケーブル（VMC-AVM250）で接続し、DVDビデオを再生した場合、出力信号（RGB）がコンポーネント映像信号（Y C_b/P_b C_r/P_r）に固定されるため、画面が乱れることがあります。このテレビのAVマルチ入力端子は、このコンポーネント映像信号に対応していますが、「AVマルチ入力」が「AVマルチRGB」に選択されているとDVDが正しく再生されません。AVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチY/C_B/C_R」を表示させ、入力を切り換えてください。
詳しくは、“プレイステーション 2” 本体の取扱説明書をご覧いただくか、下記にお問い合わせください。

株式会社　ソニー・コンピュータエンタテインメント
インフォメーションセンター
URL .... http://www.playstation.jp/info/
ナビダイヤル 0570-000-929
PHSでのご利用は 03-3475-7444
受付時間：10:00〜18:00

別売りのマルチAVケーブルでつなぐときは

1本のケーブルで簡単に映像信号と音声信号を接続できます。

“プレイステーション 2” などを使うには

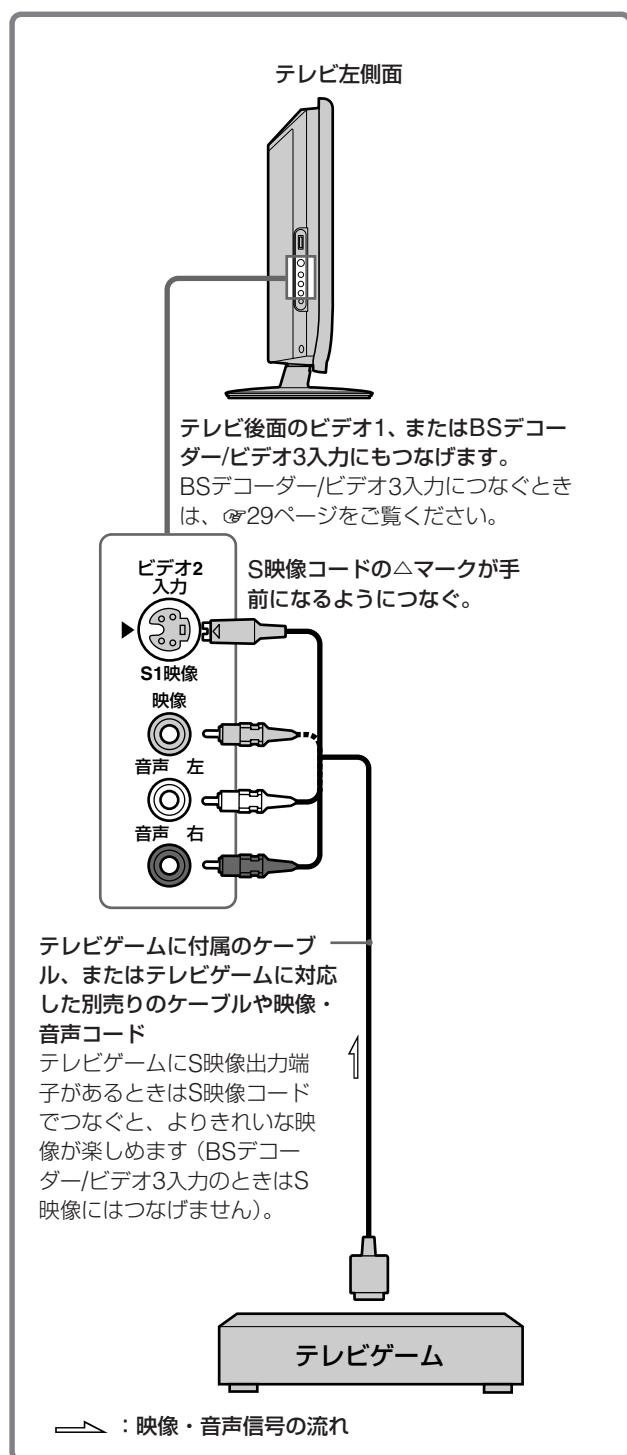
AVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチRGB」または「AVマルチY/C_B/C_R」を表示させる。
詳しくは、☞53ページをご覧ください。

ご注意
ソフトウェアによっては、AVマルチ入力端子のRGB接続またはY/C_B/C_R接続に適していないものもあります。

“プレイステーション ”（PS one）および “プレイステーション ” を使うには

AVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチRGB」を表示させる。
詳しくは、☞53ページをご覧ください。

その他のテレビゲームなどをつなぐ

テレビ左側面のビデオ2入力端子にテレビゲームをつなぎます。テレビゲームの取扱説明書もあわせてご覧ください。

テレビゲームをするには

ビデオボタンをくり返し押して、テレビゲームをつないだビデオ入力（「ビデオ1」～「ビデオ3」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞52ページをご覧ください。

ご注意

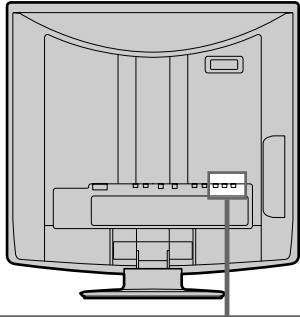
電子的なライフルやガン（銃）などのテレビ画面を標的にして楽しむシューティングゲームは使用できないことがあります。詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

DVDプレーヤーをつなぐ

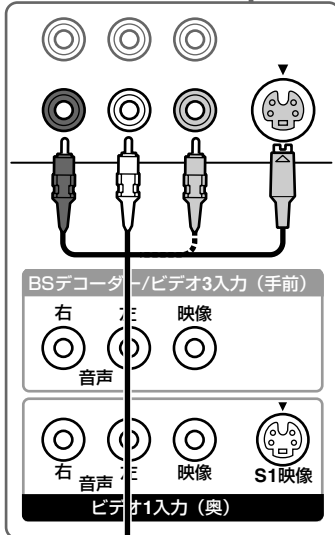
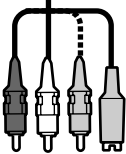
コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーはテレビのコンポーネント入力端子につなぐと、より高画質な画像をお楽しみいただけます。
DVDプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは

：映像・音声信号の流れ

D映像コードのかわりに、映像コード（別売り：VMC-DP20CVなど）を使ってY端子、C_B端子、C_R端子とD端子をつなぐこともできます。

DVDを見るには

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは

コンポーネントボタンを押して、DVDプレーヤーをつないだコンポーネント入力（「コンポーネント」）を表示させる。
詳しくは、☞52ページをご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

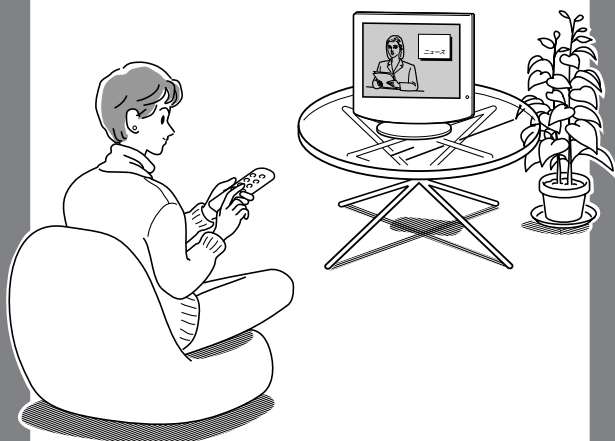
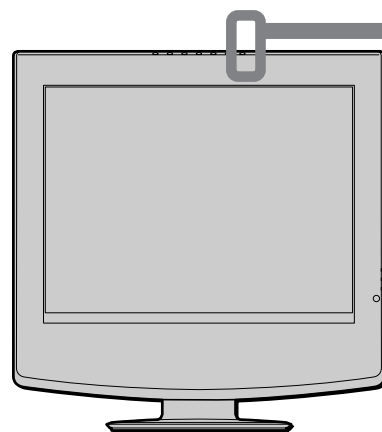
DVDを見るには

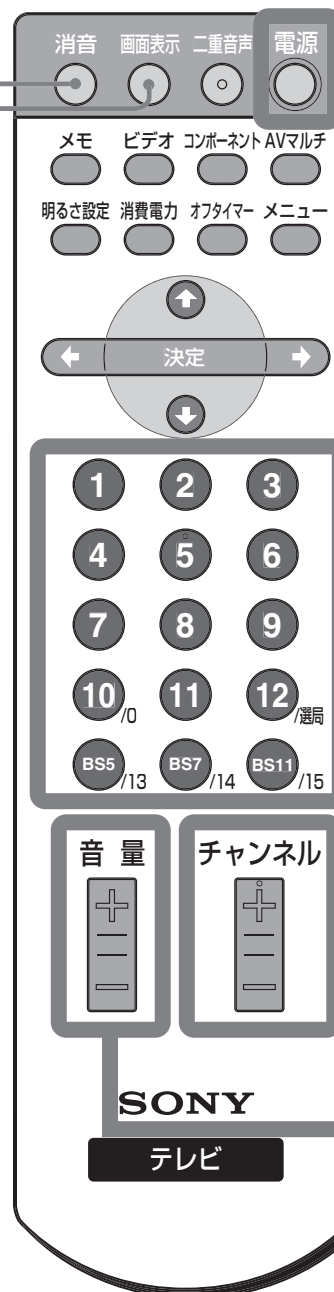
コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

ビデオボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだビデオ入力（「ビデオ1」～「ビデオ3」のいずれか）を表示させる。

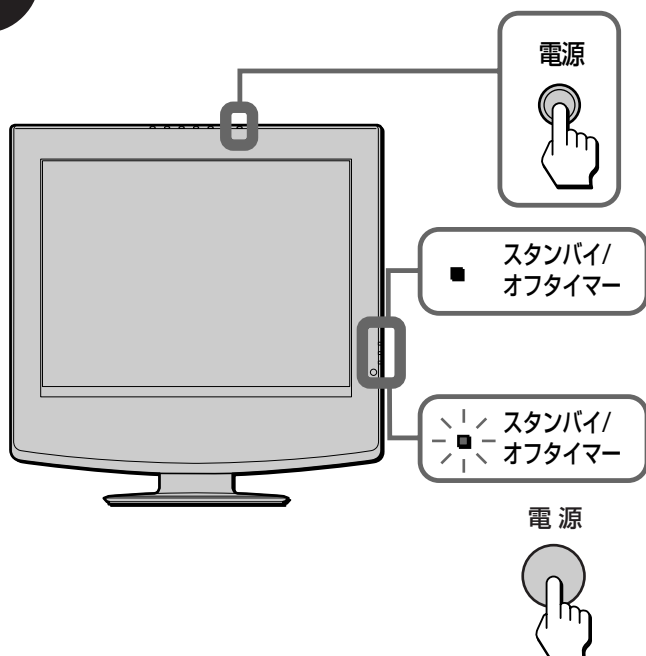
詳しくは、☞52ページをご覧ください。

見る

ここでは、通常のテレビやBS放送をはじめ、ビデオやDVDプレーヤー、テレビゲームなどテレビにつないだ機器の映像を見るときの操作を説明しています。
映像に合った画質/音質に設定したり、節電しながら見たり、横長の画面にするなど、多彩な機能の操作も説明しています。

テレビ/BS放送を見る

消音ボタン
一時的に音を消すときに押します。
もう1度押すか、音量＋ボタンを押すと音が出ます。

画面表示ボタン
チャンネル表示を出すときに押します。
もう1度押すと表示は消えます。

ちょっと一言

- スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときは、リモコンのチャンネル数字ボタンやチャンネル+/−ボタンを押すと自動的にテレビの電源も入ります（チャンネルポン機能）。
- 省電力のため、放送が終了して（または放送のないチャンネルにしたまま）約10分過ぎると、「まもなく電源が切れます」と表示されて自動的にスタンバイモードになります。

1 テレビの電源を入れる。

スタンバイ/オフタイマーランプが消えているときは
テレビ本体上面の電源スイッチを押す。

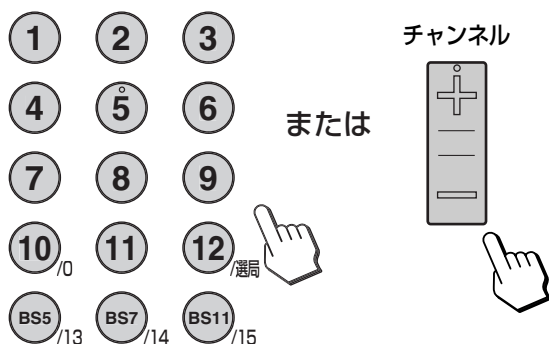
スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときは
リモコンの電源ボタンを押す。

見る

2 チャンネル数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

チャンネル+/−ボタンでもチャンネルを選べます。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12/選局 BS5/13 BS7/14 BS11/15

または

チャンネル

BS放送は以下のチャンネルになります。

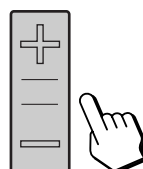
見たい放送	押すボタン
WOWOW（BS5）*	
NHK衛星第一（BS7）	
NHK衛星第二（BS11）	

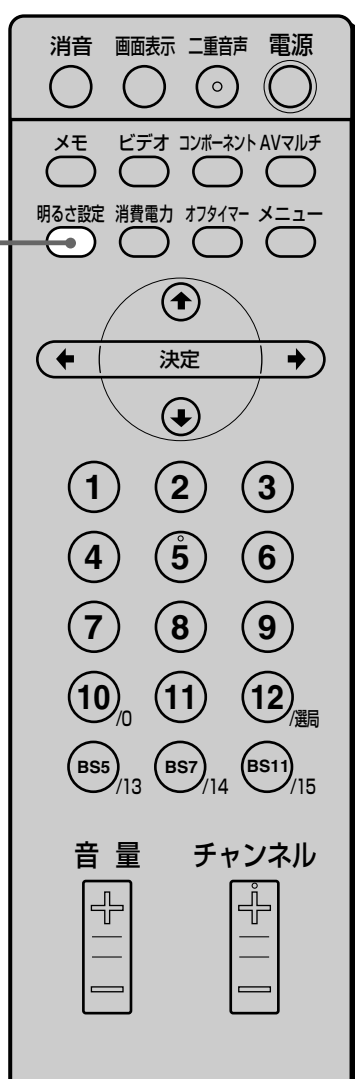
* BSデコーダー（WOWOW）の電源を入れてください。なお、WOWOWは、別途WOWOWと受信契約し、専用のBSデコーダー（WOWOW）が必要です。

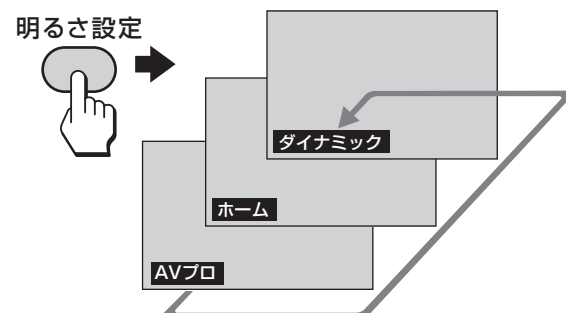
3 音量+/−ボタンで音量を調節する。

ちょっと一言

音量表示の上にある数値も調節の目安になります。

音 量

部屋の明るさにあった映像を選ぶ
[明るさ設定ボタン]

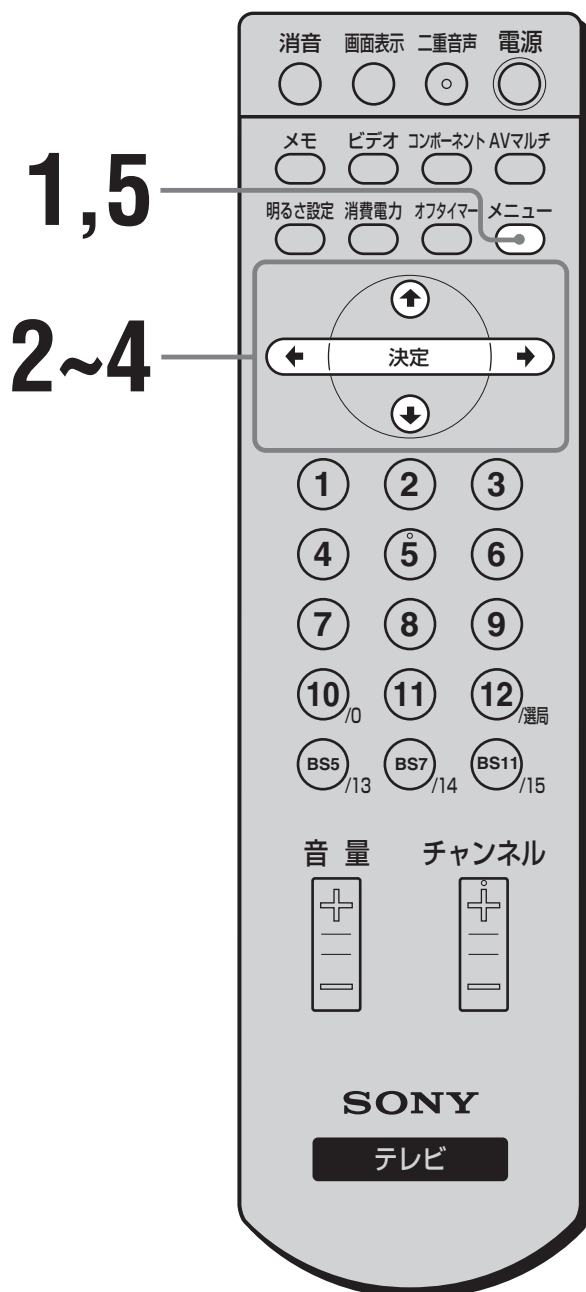
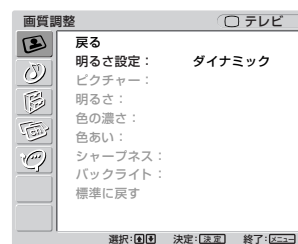
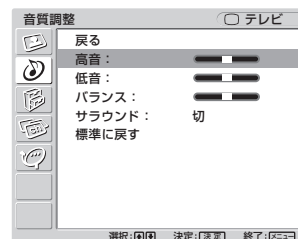
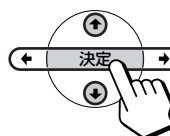
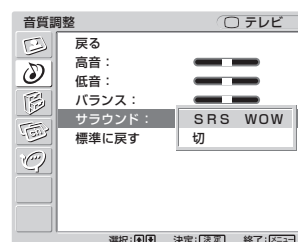
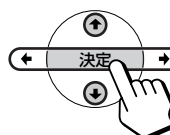
明るさ設定ボタンを押すだけで、部屋の明るさに合った映像を選べます。また、「ホーム」、「AVプロ」を選ぶと、より細かく画質を調整できます（☞56ページ）。
明るさ設定は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごとに別々に設定できます（通常のテレビ放送とBS放送も別々に設定できます）。
ご家庭で通常ご覧になるときは、「ホーム」を選ぶことをおすすめします。

明るさ設定ボタンをくり返し押す。

1回押すと、現在の明るさ設定が表示されます。その後、押すたびに次のように切り換わります。

ダイナミック
映像の輪郭とコントラストを最大限に上げたメリハリの非常に強い映像になります。

ホーム
ご家庭の様々な使用環境に適した、コントラスト感のある映像になります（☞56ページ）。

AVプロ
お好みの画質を自由に設定できます（☞56ページ）。

サラウンドを楽しむ

「♪（音質調整）」メニューの「サラウンド」で映画やゲームに適した音質を選べます。
「サラウンド」は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごとに別々に設定できます（通常のテレビ放送とBS放送を別々に設定できます）。

1 メニューボタンを押す。

2 ⬆/⬇で「♪（音質調整）」を選び、決定ボタンを押す。

3 ⬆/⬇で「サラウンド」を選び、決定ボタンを押す。

4 ⬆/⬇で「SRS WOW」を選び、決定ボタンを押す。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

「SRS WOW*」
充分な低音とクリアな高音により豊かな臨場感が得られ、特に映画やゲームを迫力ある音で楽しめます。

* WOW、SRSと（●）記号はSRS Labs, Inc.の商標です。WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
BBEハイディフィニションサウンドがフル作動してサウンドエフェクトを最大限に向上させます。

ご注意
- ヘッドホンで聴くときは、SRS WOWは働きません。
- モノラル音声のときは、SRS WOWの効果が充分に得られないことがあります。

見る

節電しながら見る
[消費電力ボタン]

消費電力ボタンを押す。

節電をやめるには

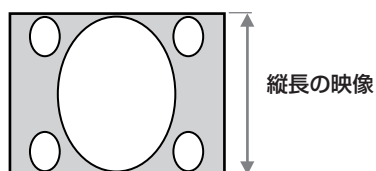
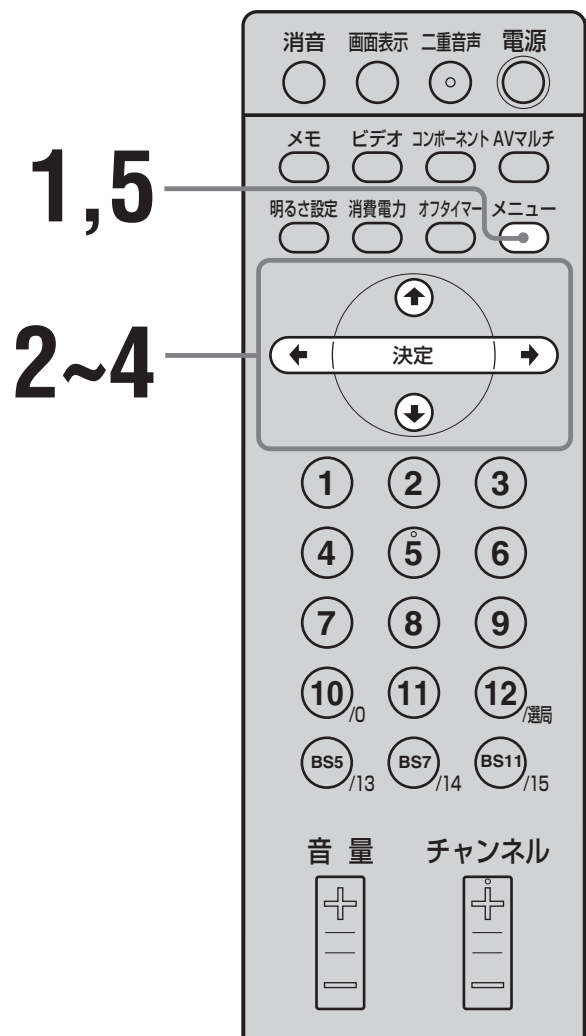
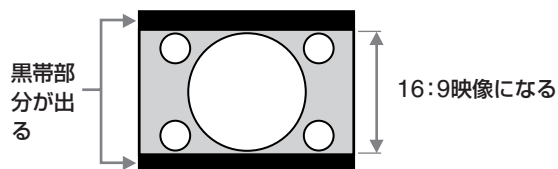
もう1度、消費電力ボタンを押す。
「消費電力：標準」と表示されます。

ちょっと一言

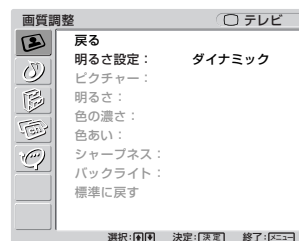
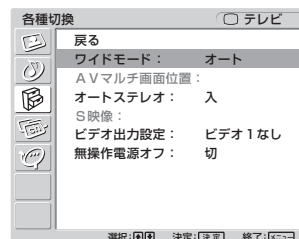
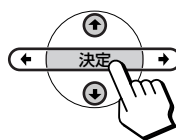
- 「消費電力：減」のときに電源を切ると、次に電源を入れたときも「消費電力：減」のままになります。
- 明るさ設定ボタンで「ホーム」または「AVプロ」を選んでいるときは、「消費電力：減」でも、画質を調整できます（☞56ページ）。ただし、「ピクチャー」や「明るさ」を上げると節電にならない場合があるため、おすすめしません。

横長の画面にする
[ワイドモード]

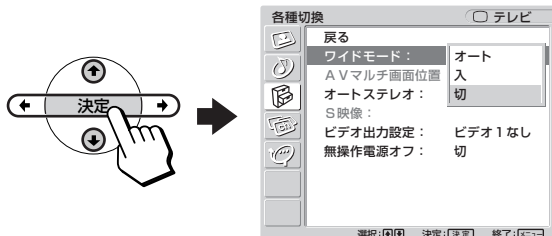
地上・BS・110度CSデジタル放送やDVDプレーヤー、ビデオカメラなどの横縦比16：9映像を縦長に記録した映像を、16：9のワイド映像に戻して見ることができます。

ワイドモード「切」のときの映像（16：9映像を縦長にした映像）

ワイドモードが働いているときの映像（16：9映像）

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「(各種切換)」を選び、決定ボタンを押す。

見る

次のページにつづく

横長の画面にする［ワイドモード］（つづき）

3 ↑/↓で「ワイドモード」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「オート」を選び、決定ボタンを押す。

通常は、「オート」（お買い上げ時の設定）にしてください。

横縦比の信号（D2入力端子からの横縦比情報の入った地上・BS・110度CSデジタル放送やID-1/S1方式）を、自動判別して縦方向を圧縮した横縦比16：9のワイド画面にし、それ以外の映像はオリジナルそのままに映します。正しく判別されるようにつないでください。

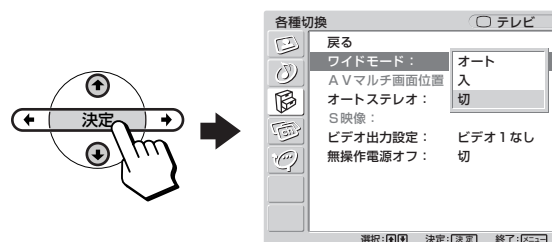
つなぐ機器の映像出力端子の種類	コードの種類
D映像出力端子があるときは	D映像・音声コードでつなぐ（別売り：VMC-DD20CVなど）
S1映像出力端子があるときは	S映像・音声コードでつなぐ（別売り：YC-810Sなど）
ビデオID-1システム対応の映像出力端子があるときは	映像・音声コードでつなぐ（別売り：VMC-810Sなど）

表のいずれにもあてはまらないときは、「オート」で判別されずに、縦長の画像のまま表示されることがあります。その場合は、「ワイドモード：入」を選んでワイド画面にしてください。

「入」を選ぶと

すべての映像を縦方向に圧縮します。

「切」を選ぶと

すべての映像をオリジナルそのままに映します。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ワイドモードについてのご注意

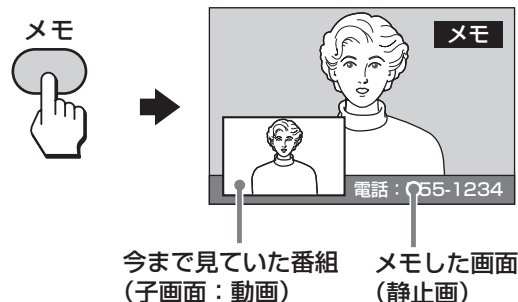
- 通常のテレビ放送やBS放送など横縦比4：3の映像で、ワイドモードを「入」にすると、縦方向に圧縮されて不自然に見えます。
- ワイドモード機能を、喫茶店やホテル等で、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として使用すると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意願います。
- 上下に黒帯が入っている横長の映画などのワイド画像のときは、「オート」または「切」にしてください。
  「入」を選ぶと、従来から入っていた黒帯の部分まで縦方向に圧縮されて、よりつぶれた映像になるためです。

メモするために画面を静止させる

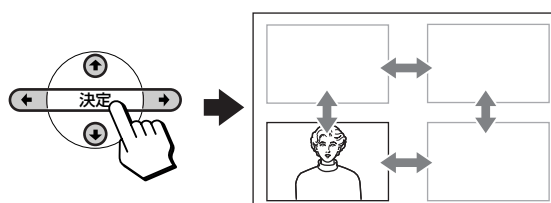
[メモボタン]

視聴者プレゼントの応募先や料理の材料など、メモしたい場面を静止画で確認できます。同時に今まで見ていた番組も子画面で引き続きお楽しみいただけます。また、子画面を画面四隅のお好みの位置に移動させることもできます。

メモボタン

1 静止させたい場面で、メモボタンを押す。

画面が静止します。同時に画面の左下に子画面が出て、視聴中の番組が表示されます。

子画面位置を移動させたいときは

移動させたい方向に↑/↓/←/→を押す。

2 メモボタンを押す。

子画面が消えます。

3 もう一度メモボタンを押す。

静止画が解除され通常画面に戻ります。

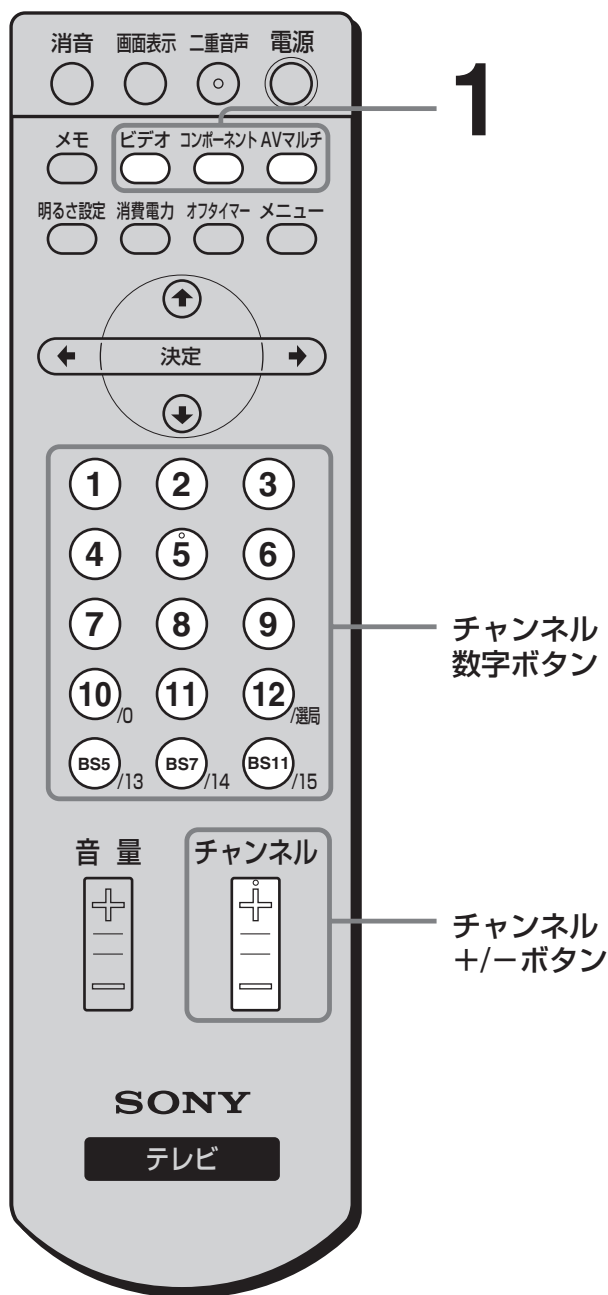
ご注意

- メモ画面表示中は明るさ設定ボタン、メニューボタンは働きません。
- メモ画面表示中にチャンネルや入力を切り換えると、メモ画面を解除します。

ちょっと一言

本体上面のメモボタンも、リモコンのメモボタンと同様に働きます。

テレビにつないだ機器の画像を見る

入力を切り換えて、テレビにつないだビデオ機器やDVDプレーヤー、地上・BS・110度CSデジタルチューナー、デジタルCSチューナー、テレビゲームなどの画像を見ることができます。接続のしかたについては、☞28〜43ページをご覧ください。

1 入力切換用のボタンを押して、見たい画像を選ぶ。

各ボタンを押すたびに、それぞれの端子につないだ機器の画像に切り換わります。

押すたびに	以下につないだ機器の画像になります。	画面表示も変わります。
ビデオ	● ビデオ1入力端子	ビデオ1*2 ↓
	● ビデオ2入力端子	ビデオ2*2 ↓
	● BSデコーダー/ビデオ3入力端子*1	ビデオ3（→ビデオ1へ戻る）
コンポーネント	● コンポーネント入力端子	コンポーネント
AVマルチ	● AVマルチ入力端子 詳しくは、「AVマルチ入力端子につないだとき」（☞53ページ）をご覧ください。	AVマルチRGB ↕ AVマルチY/CB/CR

*1 BSデコーダー/ビデオ3入力端子にビデオ機器などをつなぎ、「デコーダー/ビデオ」の設定を「ビデオ3」に変えると選べます（お買い上げ時は、ビデオ3入力端子として働くように設定されています）。

*2 S1映像端子につなぎ、「（各種切換）」メニューの「S映像」を「入」にしているときは（☞28ページ）、「Sビデオ1」、「Sビデオ2」と表示されます。

2 接続している機器を操作する。

詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に戻すときは

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル+/−ボタンを押す。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12/選局 BS5/13 BS7/14 BS11/15　または　チャンネル +/−

ちょっと一言

テレビ本体の入力切換ボタンをくり返し押しても、入力を切り換えられます。

テレビ → ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 → コンポーネント → AVマルチ RGB → AVマルチ Y/CB/CR → テレビ

“プレイステーション 2” などを楽しむ

“プレイステーション 2”、
“プレイステーション”（PS one）および
“プレイステーション” の取扱説明書もあわせてご覧ください。

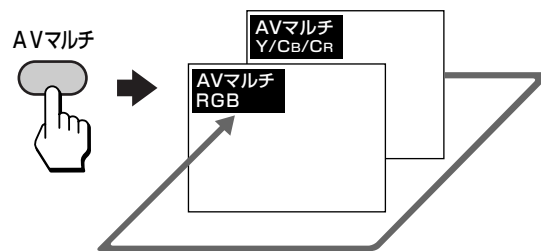
AVマルチ入力端子につないだとき（☞40ページ）

（☞40ページ）

1本のケーブルで簡単に映像信号と音声信号を接続できます。

AVマルチボタン

AVマルチボタンをくり返し押す。

押すたびに、AVマルチ入力が次のように切り換わります。

“プレイステーション 2” を使うには
AVマルチボタンをくり返し押して、“プレイステーション 2” の映像が出る入力（「AVマルチRGB」または「AVマルチY/CB/CR」）にする。

ご注意
下の表のように、“プレイステーション 2” 側の設定にテレビ側のAVマルチ入力を合わせてください。
設定が異なっていると、映像が乱れたり、正しく表示されないことがあります。

“プレイステーション 2” 側のシステム設定画面で「コンポーネント映像出力」が	テレビ側のAVマルチ入力を
「RGB」のときは、	「AVマルチRGB」にする。
「Y Cb/Pb Cr/Pr」のときは、	「AVマルチY/CB/CR」にする。

“プレイステーション”（PS one）および “プレイステーション” を使うには
AVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチRGB」を選ぶ。

ご注意
ソフトウェアによっては、AVマルチ入力端子のRGB接続またはY/CB/CR接続に適していないものもあります。

ちょっと一言
電子的なライフルやガン（銃）などのテレビ画面を標的にして楽しむシューティングゲームは使用できないことがあります。詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

見る

次のページにつづく

ゲームの画面の左右位置を調整するには

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「 (各種切換)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「AVマルチ画面位置」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で画面位置（－10～＋10）を選び、決定ボタンを押す。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

「AVマルチ画面位置」はAVマルチボタンで切り換えた「AVマルチRGB」、「AVマルチY/CB/CR」の画像のみ調整できます。

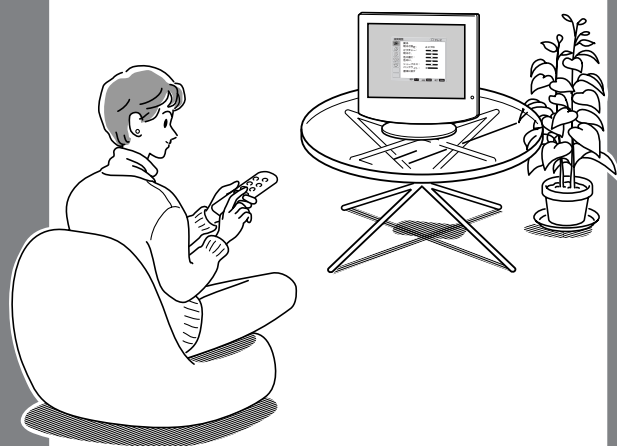
ビデオ入力端子につないだとき（☞41ページ）

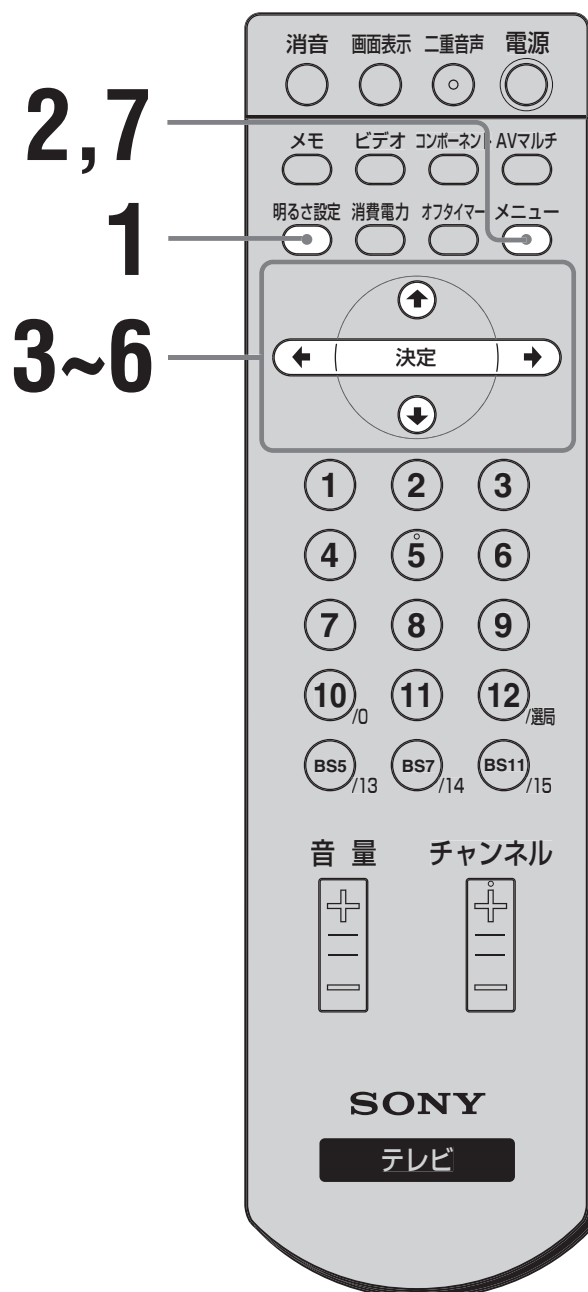
ビデオボタンをくり返し押す。

“プレイステーション 2”、
“プレイステーション”（PS one）および“プレイステーション” などの映像が出る入力（「ビデオ1」～「ビデオ3」のいずれか）にする。
詳しくは、☞52ページをご覧ください。

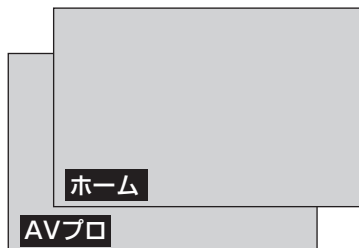
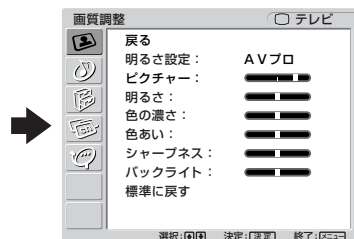
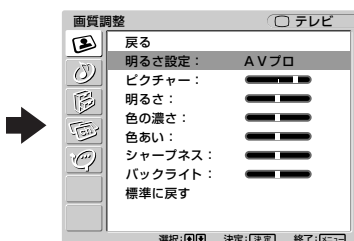
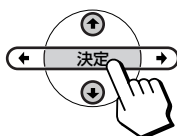
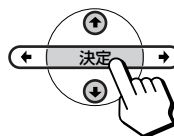
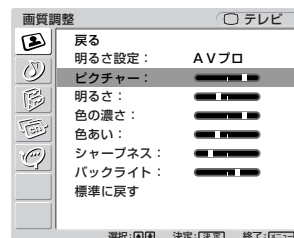
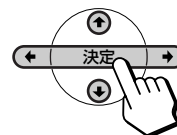
見る

調整する/設定する

ここでは、画質や音質を調整する応用的な操作を説明しています。
BS放送をビデオに録画したり、予約録画したりするときの操作も説明しています。
また、テレビに内蔵されているタイマーを使って、自動的に電源を切ったりする操作も説明しています。

より細かく画質を調整する

明るさ設定ボタンで「ホーム」または「AVプロ」を選ぶと、画質をより細かく調整できます。
画質は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごとに設定できます（通常のテレビ放送とBS放送を別々に設定できます）。

1 明るさ設定ボタンをくり返し押して、「ホーム」または「AVプロ」を選ぶ。

ご注意

「ダイナミック」（☞46ページ）では、画質調整できません。

2 メニューボタンを押す。

3 ♦/♦で「(画質調整)」を選び、決定ボタンを押す。

4 ♦/♦で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。

5 ♦/♦/♦/♦で調整し、決定ボタンを押す。

調整できる項目

項目	♦/♦を押すと	♦/♦を押すと
ピクチャー	明暗の差が小さくなる	明暗の差が大きくなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	赤みがかる	緑がかる
シャープネス	映像の輪郭が柔らかくなる	映像の輪郭がくっきりする
バックライト	画面が暗くなる	画面が明るくなる

ちょっと一言

調整バーの横に表示される数値も調整の目安になります。

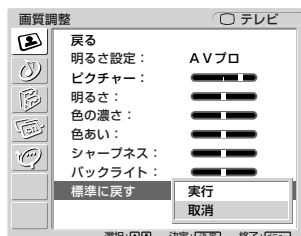
6 他の項目を調整するときは、手順4と5をくり返す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

次のページにつづく

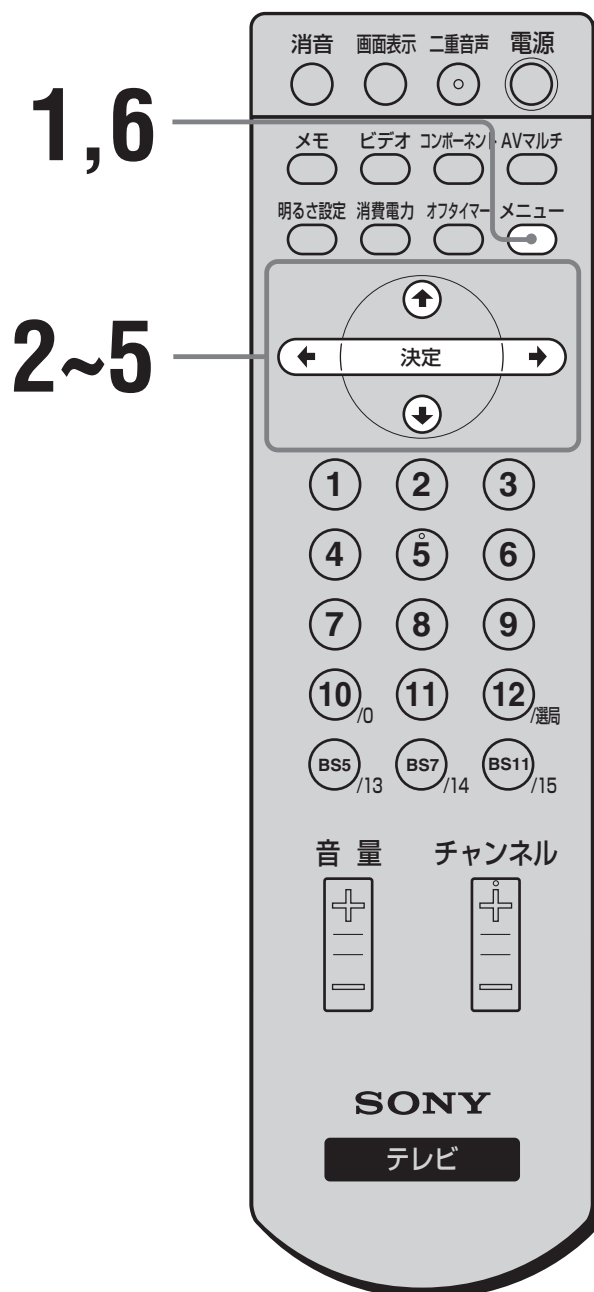
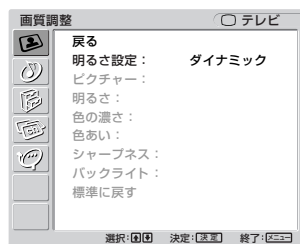
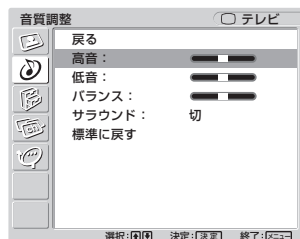
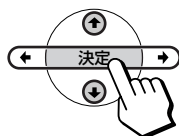
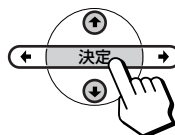
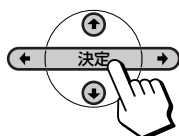
より細かく画質を調整する（つづき）

お買い上げ時の状態に戻すには

1 手順4で「標準に戻す」を選び、決定ボタンを押す。

2 ⇧/⇩で「実行」を選び、決定ボタンを押す。

3 メニューボタンを押して、メニューを消す。

音質を調整する

音質は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごとに設定できます（通常のテレビ放送とBS放送を別々に設定できます）。
ここでは「サラウンド」（☞47ページ）以外の音質「バランス」、「低音」、「高音」について説明しています。

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「♪（音質調整）」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓/←/→で調整し、決定ボタンを押す。

項目	↓/←を押すと	↑/→を押すと
高音	弱くなる	強くなる
低音	弱くなる	強くなる
バランス	左側の音が強くなる	右側の音が強くなる
サラウンド	☞47ページをご覧ください。	

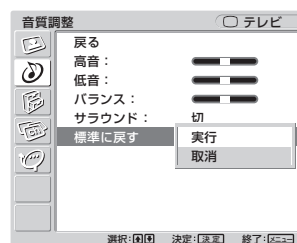
ちょっと一言

調整バーの横に表示される数値も調整の目安になります。

5 他の項目を調整するときは、手順3と4をくり返す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

1 手順3で「標準に戻す」を選び、決定ボタンを押す。

2 ↑/↓で「実行」を選び、決定ボタンを押す。

3 メニューボタンを押して、メニューを消す。

音声を切り換える
[二重音声ボタン]

二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。

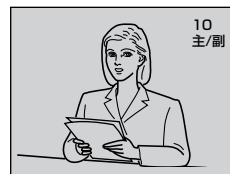
二重音声ボタン

二重音声ボタンをくり返し押す。

押すたびに下表のように切り換わります。

画面表示	左スピーカーの音声	右スピーカーの音声
主	両方とも主音声	
副	両方とも副音声	
主/副	主音声	副音声

左側（主音声）

右側（副音声）

Good evening.

例：「主/副」を選んだとき

通常のテレビ（VHF/UHF）のステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして、チャンネルごとに雑音を軽減できます。

1 雑音の多いチャンネルを映した状態で、メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「（各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「オートステレオ」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「切」にして、決定ボタンを押す。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

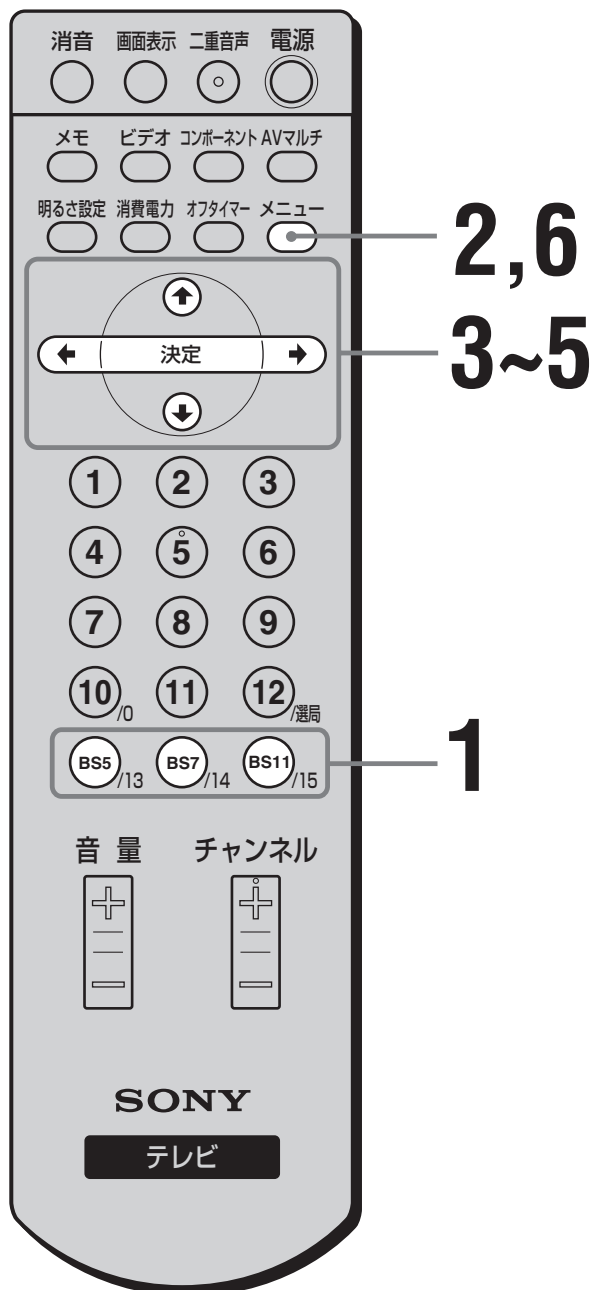
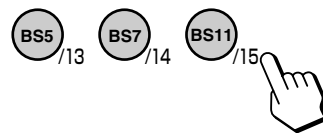
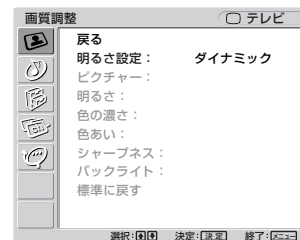
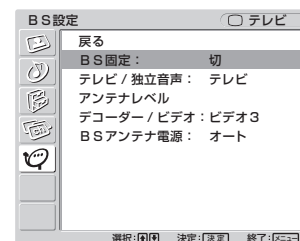
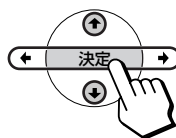
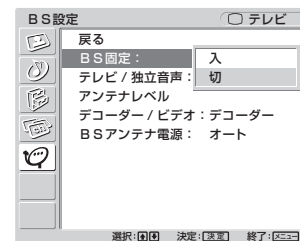
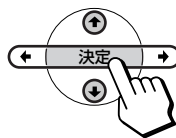
ちょっと一言

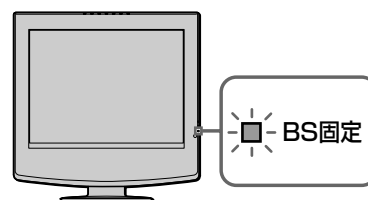
BS放送では放送内容により、以下の音質表示が画面右上に出ます。

- 「A」：Aモード（FM放送とほぼ同じ音質）を受信。
- 「B」：Bモード（Aモードより高音質でCDとほぼ同じ音質）を受信。
- 「独立」：BS5チャンネルの独立音声放送を受信。
- 「ステレオ」：ステレオ放送を受信。（通常のテレビ放送でも表示。）

なお、AモードとBモードは、番組内容に応じて放送局側が使い分けて送信するものを、テレビが自動的に判別して受信するため、二重音声ボタンなどで切り換えることはできません。

BS放送を録画/予約録画する
[BS固定]

このテレビ内蔵のBSチューナーでBS放送を受信し、テレビにつないでいるビデオに録画できます。また、録画するBSチャンネルを固定して、48時間以内の予約録画もできます。
あらかじめ、「ビデオなどをつなぐ」(☞28ページ)をしておいてください。

1 録画したいBSチャンネルを選ぶ。

2 メニューボタンを押す。

3 ↑/↓で「(BS設定)」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「BS固定」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「入」を選び、決定ボタンを押す。

BSチャンネルとBS/ビデオ出力端子から出る信号が固定されて、他のBSチャンネルに切り換わらなくなります。また、音声も同時に切り換わらなくなります。

テレビ前面のBS固定ランプが緑色に点灯します。

調整する／設定する

次のページにつづく

BS放送を録画/予約録画する [BS固定]（つづき）

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

7 S映像入力端子付きビデオのときは、ビデオ側で映像入力端子の信号を優先する設定にする。

テレビのBS/ビデオ出力端子は映像出力端子のため、ビデオ側でS映像入力端子の信号を優先する設定にしてあると、映像信号がビデオに入力されないため、録画されません。詳しくは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

8 ビデオを「外部入力（ライン入力）」に切り換えて、録画を始める。

詳しくは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

見ながら録画するときは

BS固定したBSチャンネルで、そのままお楽しみください。他のBSチャンネルには切り換わりません。また、音声も切り換わりません。

裏番組として録画するときは

BSを録画しながら通常のテレビ（VHF/UHF）やビデオを見ることができます。見たいチャンネルやビデオ入力などを選んでください。他のBSチャンネルには切り換わりません。また、音声も切り換わりません。

予約録画するときは

ビデオで「外部入力（ライン入力）」を録画予約し、リモコンでテレビの電源を切る。
テレビの電源はスタンバイ状態になりますが、BSチューナー部の電源は48時間電源が入ったままになります（BS固定ランプが点灯）。

ご注意

- テレビ本体の電源スイッチで電源を切ったり、電源コードを抜いたりすると、録画できなくなります。
- WOWOWなどスクランブル放送を録画するときは、BSデコーダー（WOWOW）の電源を入れたままにしてください。

録画が終わったら/BS固定をやめるには

BS固定したチャンネルを選んで、☞61ページの手順1から4までを行い、手順5で「切」を選び、決定ボタンを押す。
BS固定ランプが消えてBS固定が解除され、他のBSチャンネルを選べます。

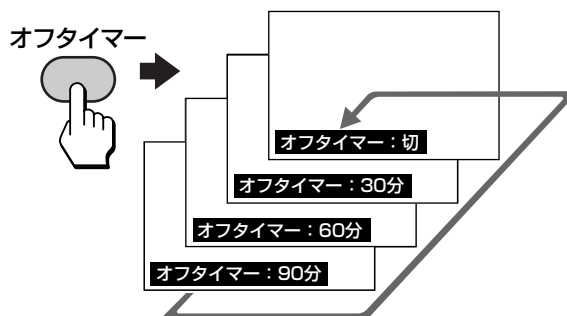
ちょっと一言

独立音声放送を録音するときは、「（BS設定）」メニューで、「テレビ/独立音声」を「独立」にしてください。また、BSデコーダー（WOWOW）でも独立音声を選んでください。

自動で電源を切る
[オフタイマーボタン]

テレビをつけたままでも、設定した時間（30分、60分または90分）が過ぎると、自動的に電源が切れます。

オフタイマーボタンをくり返し押す。

押すたびに、次のように時間が変わります。また、テレビ本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯します。

オフタイマーを途中でやめるには

オフタイマーボタンをくり返し押して、「オフタイマー：切」を選ぶ。

ちょっと一言

- オフタイマーが働いているときに、オフタイマーボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間（例：「オフタイマー：あと17分」）が表示されて、数秒後に消えます。
- 電源を入れ直したときは、「オフタイマー：切」に戻ります。
- 電源が切れる1分前になると、「オフタイマーによりまもなく電源が切れます」と表示されます。ただし、メニューなどを開いているときは表示されないこともあります。

次のページにつづく

3時間操作をしなかったときに自動で電源を切る（無操作電源オフ）

省電力のため、テレビ本体およびリモコンで操作を3時間しなかったときに、「無操作電源オフによりまもなく電源が切れます」と表示され、自動で電源をオフ（スタンバイモード）にするように設定できます。
お買い上げ時は、「切」に設定されています。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「 （各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「無操作電源オフ」を選び、決定ボタンを押す。

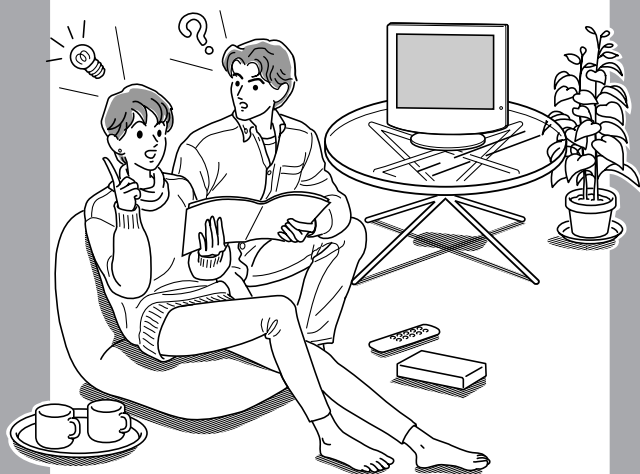
4 ↑/↓で「入」または「切」を選び、決定ボタンを押す。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

放送終了後、または放送のないチャンネルにしたままの状態で、約10分過ぎると、「まもなく電源が切れます」と表示されて自動的にスタンバイモードになります。

その他

ここでは、テレビが正常に動かないときに解決する方法や、お手入れのしかたなどについて説明しています。
また、索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

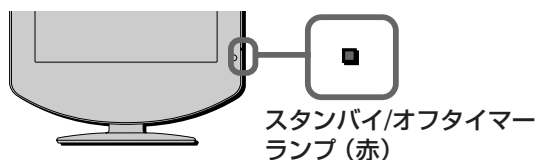
テレビ本体の型名：
KLV-20SP2（ケーエルブイ エスピー）

リモコンの型名：
RM-J931（アールエムジェイ）

故障の状況：できるだけくわしく

購入年月日：

自己診断表示

このテレビには自己診断表示機能がついています。これはテレビに異常が起きたときに、本体前面のスタンバイ/オフタイマーランプの点滅でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点滅したら、下の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

1 スタンバイ/オフタイマーランプの点滅時間を計ってください。
たとえば、2秒点灯→1秒消灯→2秒点灯
2 テレビ本体の電源スイッチで電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点滅のしかた（時間）をお知らせください。

次のページにつづく

テレビの症状と対処のしかた

症状		対処のしかた
画像が出ない	すべてのチャンネルが映らない。	● 電源コードをしっかりつないでください。 ● テレビ本体の電源を入れてください。 ● アンテナ線をしっかりつないでください。
	特定のチャンネルだけが映らない。	● チャンネルを合わせ直してください（☞18ページ）。
	テレビの電源が突然切れた/いつのまにか消えていた（スタンバイ状態になった）。	● テレビの消し忘れを防ぐため、放送終了後、または放送のないチャンネルを受信している状態やつないだ機器からの入力信号がない状態で、約10分過ぎると、「まもなく電源が切れます」と表示されて、自動的にスタンバイ状態になります。 ● 無操作電源オフを設定していませんでしたか?（☞64ページ） ● オフタイマーを設定していませんでしたか?（☞63ページ）
	つないだ機器の画像が出ない。	● 接続コードをしっかりつないでください。 ● リモコンの入力切換用のボタンを押してください（☞52ページ）。 ● S映像入力のときは、「（各種切換）」メニューで「S映像」を「入」にしてください（☞28ページ）。
BS放送が映らない／乱れる	BS放送が映らない/画像が乱れている。	**BSアンテナを直接つないでいる場合** ● 「（BS設定）」メニューで「BSアンテナ電源」を「オート」または「連動」にしてください（☞23ページ）。 ● BSアンテナ側は防水型コネクターをつないでください。 ● アンテナの大きさが適切かを確認してください。 ● アンテナの前方に障害物があれば取り除いてください。 ● アンテナの方向・角度を調整してください（☞24ページ）。 **マンションなどの共同受信システムの場合** ● 「（BS設定）」メニューで「BSアンテナ電源：切」にしてください（☞23ページ）。 ● サテライト分波器でVHF/UHFとBSを分けてください（☞13ページ）。 ● ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 **複数のBS機器をサテライト分配器でつないでいる場合** ● BSアンテナ用電源を供給する機器のスイッチを「入」にしてください。 **その他** ● BSの放送時間を確認してください。 ● 雨や雪が降ると映りが悪くなることがあります。また、晴れていても、BSを送信する放送衛星会社の地域で雨や雪が降っていると映りが悪くなることがあります。 ● テレビの近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがあります。 ● BS専用のケーブルを使ってください（☞15ページ）。 ● アンテナコネクター（バルーン）を使っていないかを確認してください。 ● WOWOWなどのスクランブル放送でないかを確認してください。
	BS放送のチャンネルが切り換わらない。	● BS固定にしていないかを確認してください（☞61ページ）。
	WOWOWが映らない。	● WOWOWを見るには、WOWOWとの受信契約が必要です。詳しくは、WOWOWへお問い合わせください。 ● BSデコーダー（WOWOW）は、テレビのBSデコーダー/ビデオ3入力端子につないでください。 ● 「（BS設定）」メニューで「デコーダー/ビデオ」を「デコーダー」にしてください（☞39ページ）。

症状		対処のしかた
きれいに映らない	画像が二重、三重になる。	● アンテナ線をしっかりつないでください。 ● アンテナの位置、方向、角度を調整してください。
	雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。	● アンテナが風でこわれたり曲がったりしていないか確認してください。 ● アンテナの寿命を確認してください（通常3〜5年、海辺では1〜2年）。
	斑点や点模様が走る。	● ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けています。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。
	色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。	● 明るさ設定ボタンを押して、画質設定してください（☞46ページ）。 ●「（画質調整）」メニューで、画質を調整してください。 ●「消費電力：減」のときは、画面が暗くなります（☞48ページ）。
	画面に光る点、または光らない点がある。 輝点・滅点	● 液晶カラーテレビの映像は微細な画素の集合です。画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合がありますが、故障ではありません。
	画面がまぶしい。	● 明るさ設定ボタンを押して、画質設定してください（☞46ページ）。
	縞状のノイズが多い。	● 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 ● アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 ● フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。
	AVマルチ入力端子につないだ“プレイステーション 2”などの画像がずれる。	●「（各種切換）」メニューで、「AVマルチ画面位置」を調整してください（☞54ページ）。
	AVマルチ入力端子につないだ“プレイステーション 2”の画像がきれいに映らない。	●“プレイステーション 2”をAVマルチ入力端子につないでいるときは、“プレイステーション 2”のコンポーネント出力の設定とテレビのAVマルチ（「RGB」または「Y/CB/CR」）入力を合わせてください（☞53ページ）。
音が出ない／雑音が多い	画像は出るが、音が出ない。	● 音量が下がりきっていないか確認してください。 ● 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンか音量＋ボタンを押して表示を消してください。 ● ヘッドホンを抜いてください。
	雑音が多い。	● 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 ● アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 ● フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。 ●「（各種切換）」メニューで「オートステレオ」を「切」にしてください（☞60ページ）。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

症状		対処のしかた
メニューが選べない／表示が消えない	メニューで選べない項目がある。	● 薄く表示されている項目は選べません（見ている画像の種類やメニューの設定によって、選べないように制約されています）。
	「BSアンテナ電源を確認してください」の表示が消えない。	● マンションなどの共同受信システムのときは、「（BS設定）」メニューの「BSアンテナ電源」は自動的に「切」になります。いったんテレビの電源を切り、入れなおしてください（☞15ページ）。 ● BSアンテナをつないでいるときは、BSアンテナのアンテナ線がショートしています。テレビ本体の電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。
画面が切り換わる／つぶれて見える	「ワイドモード」が「オート」のときに画面モードが勝手に切り換わる。	● 横縦比の信号（D2映像入力端子からの地上・BS・110度CSデジタル放送やID-1/S1方式）が入った映像は、自動判別して、縦方向を圧縮した横縦比16：9のワイド画面にするためです。
	「ワイドモード」が「入」のときに画面がつぶれて見える。	● 通常のテレビやBS放送など横縦比4：3の映像で、「ワイドモード」を「入」にすると、縦方向に圧縮されて不自然に見えることがあります。「（各種切換）」メニューで「ワイドモード」を「オート」にしてください（☞49ページ）。 ● 上下に黒帯が入っている横長の映画などのワイド画像のときは、横縦比の信号が含まれていないため、従来から入っていた黒帯部分まで縦方向に圧縮されて、よりつぶれた映像になるためです。メニューの「（各種切換）」で「ワイドモード」を「オート」または「切」にしてください（☞49ページ）。
リモコンが働かない	リモコンで操作できない。	● 電池を交換してください。 ● 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。 ● テレビ本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯していないときは、テレビ本体の電源スイッチを押してください。 ● リモコンをテレビのリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 ● リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっているときは、照明があたらないように、照明器具またはテレビの位置を調整してください。 ● メモ画面表示中は、明るさ設定ボタンとメニューボタンは働きません（☞51ページ）。
	リモコンのチャンネル数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	**ダイレクト選局の場合（☞26ページ）** ● 「（テレビ設定）」メニューで「選局」が「ダイレクト」になっているかを確認してください。 **10キー選局の場合（☞26ページ）** ● 「（テレビ設定）」メニューで「選局」が「10キー」になっているかを確認してください。 ● 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押してから、⑫/選局を押してください。 ● チャンネル数字ボタンに続けて⑫/選局を押してください。
消費電力または明るさ設定や画質調整が働かない	消費電力または明るさ設定や画質調整で設定・調整していた画質が勝手に切り換わる。	● チャンネルスキャンを行ってください（☞18ページ）。 消費電力を「消費電力：減」に設定しても、しばらくすると「消費電力：標準」に勝手に切り換わったり、明るさ設定や画質調整を行っても、しばらくすると「デモ開始」と画面に表示され、明るさ設定が「ダイナミック」に切り換わることがあります。 そのときは、一度、チャンネルスキャン（☞18ページ）を最後まで行うとお好きな消費電力や画質調整の設定に変更できます。 チャンネルスキャンを行わなかったり、チャンネルスキャン実行中に中断したりすると、消費電力の切り換えまたは明るさ設定や画質調整機能が働かないことがあります。

使用上のご注意

電源についてのご注意

付属の電源コードをお使いください。

使用・設置場所についてのご注意

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときはすぐに電源プラグを抜くようにしてください。
次のような場所での使用・設置はおやめください。

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内はとくに高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど、温度の高い場所
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 振動の多い場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。
- テレビの底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
- 壁に掛けて使用するときは必ず専用の壁取付金具(別売り)を使用してください。
- 接続ケーブルを取り付けたり、はずすときは、スタンドやスタンドの金具で手を傷つけないようにご注意ください。

音量について

- 周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分し、生活環境を守りましょう。
- ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。

液晶画面についてのご注意

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 前面のフィルターを強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

蛍光管についてのご注意

このテレビは内部照明装置として専用蛍光管を使用しておりますが、この蛍光管には寿命があります。
画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管に取り替えてください。蛍光管の交換については、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(滅点)がある場合がありますが、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

お手入れ

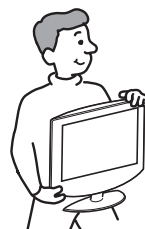
スクリーン面の汚れは

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。また画面の汚れを拭きとるときは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

外装の汚れは

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。

搬送時のご注意

- テレビを運ぶときは、テレビに接続されているケーブル等をすべてはずしてください。
  落としたりするとけがや故障の原因となることがあります。
- 修理や引っ越しなどでテレビを運ぶ場合は、お買い上げ時にテレビが入っていた箱と、クッション材を使ってください。
- テレビを手で運ぶときは、図のようにテレビの上下を持ち支えるようにしてください。後面のカバーははずれやすいので、カバーのみを持たないでください。

次のページにつづく

使用上のご注意（つづき）

廃棄するときは

- **一般の廃棄物と一緒にしないでください。**
  ごみ廃棄場で処分されるごみの中にテレビを捨てないでください。
- **このテレビの蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。**

リモコン取り扱い上のご注意

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

保証書とアフターサービス

このテレビは日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。
その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：KLV-20SP2
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店 **TEL.**
お近くのサービスステーション **TEL.**

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

システム

受信方式　NTSC方式
受信チャンネル　VHF 1～12チャンネル
UHF 13～62チャンネル
CATV C13～C38（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要）
BS1、3、5、7、9、11、13、15
画面寸法　40.8×30.6cm、51.0cm
（幅×高さ、対角）
LCD パネル　a Si TFTアクティブマトリックス
有効画素率　99.99%
表示画素数　水平　640ドット
垂直　480ライン
使用スピーカー　4×7cm 楕円×2
音声出力　実用最大
3W×2（JEITA）、8Ω

入出力端子

アンテナ端子　VHF/UHF、BS IF 75Ω F型コネクター
(コンバーター用電源出力、DC15V最大4W)
ビデオ1、2入力端子
S1映像：4ピンミニDIN
Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像：ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス
47kΩ以上
BSデコーダー/ビデオ 3 入力端子
映像：ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル
入力インピーダンス47kΩ以上
コンポーネント入力端子
D2映像：
Y：1 Vp-p（0.3 V負同期付き）
C_B/C_R：±350mVp-p
入力インピーダンス 75Ω
音声：ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス
47kΩ以上
AVマルチ入力（ゲーム）端子
12ピン
BS/ビデオ出力端子
映像：φ3.5　4極ミニプラグ、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声：φ3.5　4極ミニプラグ、2チャンネル
500mVrms
インピーダンス4.7kΩ以下
テレビ放送の音声の100%変調時、またはBS放送の最大出力-12dB時の数値です。
ヘッドホン端子　ステレオミニジャック
負荷インピーダンス16Ω以上
検波出力端子　ピンジャック、75Ω、0.67Vp-p
ビットストリーム出力端子
ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p

電源部・その他

消費電力　70W
消費電力（リモコン待機時）
BS固定が「切」：0.3W
BS固定が「入」：11W
最大外形寸法　スタンド含む：50.4×50.9×25.0cm
（幅×高さ×奥行き）
スタンドなし：50.4×46.7×11.0cm
（幅×高さ×奥行き）
質量　約9.0kg（スタンド含む）
約7.5kg（スタンドなし）
電源　AC100V、50/60Hz
付属品　リモートコマンダー　RM-J931（1）
乾電池　単4形（2）
電源コード（1）
アンテナ接続ケーブル（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
安全のために/安全点検チェックリスト（1）

別売りアクセサリー

2005年2月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

液晶テレビ用壁掛けユニット
SU-WL11
液晶テレビ用壁取付金具
SU-W210
液晶テレビ用フロアスタンド
SU-FS200、SU-P210
AVマルチ入力（ゲーム）端子専用のマルチAVケーブル
VMC-AVM250
BSアンテナなど
接続ケーブルなど

- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- このテレビは米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。

用語集

五十音順

ア行

アンテナレベル

BSアンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

インターレース(飛び越し走査)

走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線(262.5本)を1/60秒かけて描き(この1画面を1フィールドという)、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線(262.5本)を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面(フレーム)を作っていく飛び越し走査のことです。

カ行

ケーブルテレビ(CATV)

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

検波

放送衛星から送られてくるFM電波を復調することです。

サ行

スクランブル

映像、音声の信号を暗号化することです。民間BS放送(WOWOWなど)では、契約者以外は視聴できないように、電波にスクランブルをかけて(暗号化して)送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、スクランブルを解除する機器(デコーダーなど)が必要です。

タ行

地上デジタル放送

2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、また文字や画像などのデータ放送などがあります。
地上デジタル放送を受信するには、別途地上デジタル放送に対応したデジタルチューナーが必要となります。

チューナー

電波を受信して各チャンネルに合わせるための機器です。このテレビはテレビチューナーおよびBSチューナーを内蔵しています。

デジタルCS放送

スカイパーフェクTV!のことです。通信衛星を使ったCS放送の一種で110度CSデジタル放送ではありません。

独立音声放送

民間BS放送の中には、1つのチャンネルで映像の音声とは別に、音声だけの放送が行われている場合があります。これが独立音声放送です。

ハ行

ビスタビジョン

画面の横縦比が1.85:1になっている映像ソフトのことです。一般的には画像の中に字幕が入る映画などに使われています。

ビットストリーム

BS放送で送られてくる電波のデジタル信号(音声とデータ)です。データ信号は、文字放送などに使われています。

プログレッシブ(順次走査)

飛び越し走査(「インターレース」の項目を参照)をしないで、1フレーム目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフレームも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

数字・アルファベット順

110度CSデジタル放送

2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがあります。
110度CSデジタル放送を受信するには、別途110度CSに対応したデジタルチューナーが必要となります。

BSデコーダー(WOWOW)

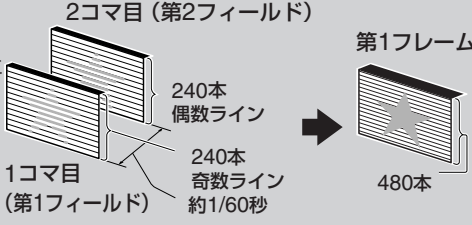
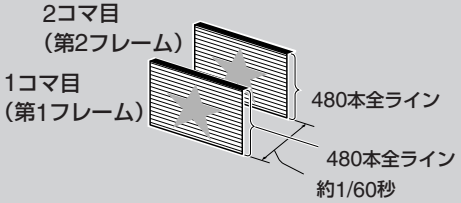
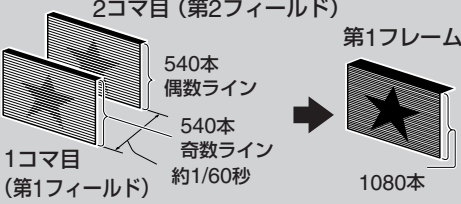
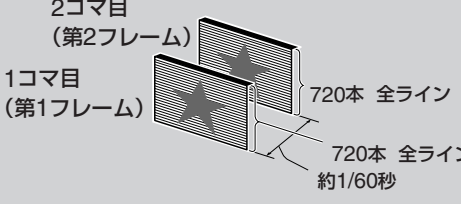
WOWOWなど民間BS放送の電波にかかったスクランブルを解除する機器です。

BSデジタル放送

2000年12月から本放送が開始された放送衛星を使って、デジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、また文字や画像などのデータ放送、CD並みの高音質なラジオ放送などがあります。
BSデジタル放送を受信するには、別途BSデジタル放送に対応したデジタルチューナーが必要となります。

D端子

デジタルCS放送、地上・BS・110度CSデジタル放送およびDVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。デジタルCSチューナーやDVDプレーヤーなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。

ID-1方式(ビデオID-1システム)

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を記録するシステムの名前です。このテレビはID-1方式に対応しています。
ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、テレビのビデオ1、2入力端子、およびBSデコーダー/ビデオ3入力端子につなぐと、ID-1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

NTSC方式

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式で、毎秒30コマ、水平走査線数525本などが特長です。アメリカの連邦テレビジョン方式委員会(National Television System Committee)が制定し、1954年に放送が正式に開始されました。欧州や中国などで使われているPAL方式やSECAM方式とは互換性がありません。

映像信号フォーマットについて

日本国内の映像信号フォーマット（画像方式）は、走査線数と走査方式によって、以下の4種類があります。

映像信号フォーマット	映像の種類	対応するD端子
525i（480i） 525本（480本）の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（飛び越し走査：インターレース方式）映像信号です。通常のテレビ放送（VHF/UHF）の信号です。	● 通常のテレビ放送（VHF/UHF） ● BSアナログ放送 ● ビデオ1〜3入力の映像 ● コンポーネント入力*の以下の映像 – 地上・BS・110度CSデジタル標準テレビ放送（525i） – デジタルCS放送 – DVDプレーヤーの映像	D1端子 **D2端子** D3端子 D4端子
525p（480p） 525本（480本）全部の走査線を順番どおりに描く（順次走査：プログレッシブ方式）映像信号です。	● コンポーネント入力*のデジタル標準テレビ放送（525p） ● コンポーネント入力*のDVDプレーヤーの映像（プログレッシブ出力映像）	**D2端子** D3端子 D4端子
1125i（1080i） 1125本（1080本）の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（飛び越し走査：インターレース方式）映像信号です。 従来のハイビジョン放送は、有効走査線数が1035本です。	● コンポーネント入力*のデジタルハイビジョン放送（1125i） ● コンポーネント入力*のハイビジョン放送（ベースバンド）の映像	D3端子 D4端子
750p（720p） 750本（720本）全部の走査線を順番どおりに描く（順次走査：プログレッシブ方式）映像信号です。	● コンポーネント入力*のデジタルハイビジョン放送（750p）	D4端子

（　）内は有効走査線数で数えたときの別称です。また、iはインターレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略。

つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。特に、地上・BS・110度CSデジタルチューナーの出力設定については、地上・BS・110度CSデジタルチューナー側の取扱説明書をご覧ください。

* コンポーネント入力はD端子からの映像です。

走査線

テレビは、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作っています。この電子ビームが作る線を走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

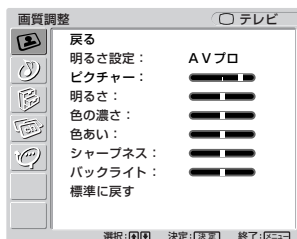
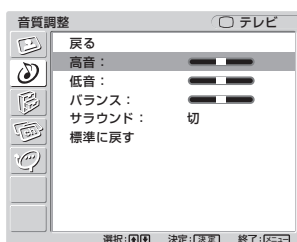
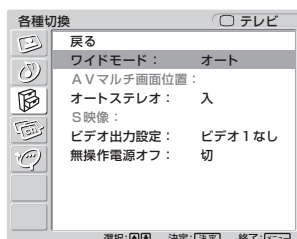
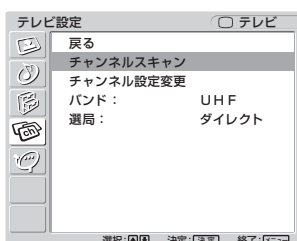
有効走査線数

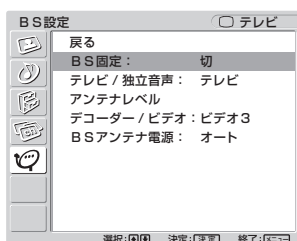
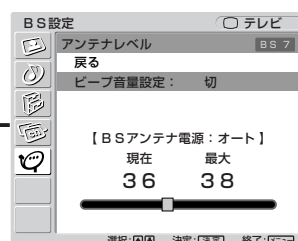
走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。通常のテレビ放送やBS放送では、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。従来のハイビジョン放送では同じく1125本中1035本、デジタルハイビジョン（HD）放送では、1125本中1080本となっています。なお、有効走査線に含まれていない残りの走査線（映像信号の載っていない走査線）には、画面の横縦比を規定した識別信号などが載っています。

D端子（コンポーネント入力）

地上・BS・110度CSデジタル放送、デジタルCS放送およびDVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。地上・BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、DVDプレーヤーなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。
このテレビにはD2入力端子（コンポーネント入力）が付いてます。

メニュー一覧

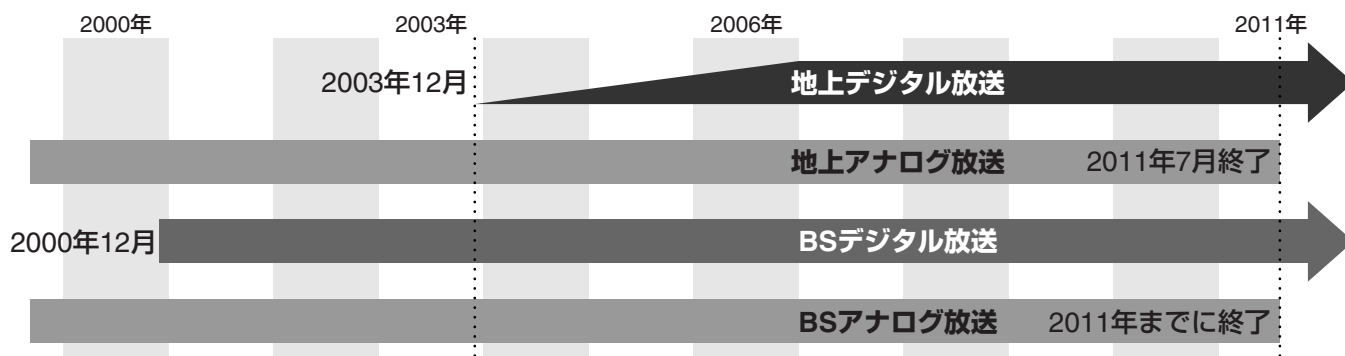
画質調整

音質調整

各種切換

テレビ設定

チャンネル設定変更

BS設定

アンテナレベル

- メニューはリモコンのメニューボタンを押すと表示され、↑/↓/←/→で選び、決定ボタンまたは→で決定します。ただし、→で決定できないメニューもありますのでご注意ください。
- 黄色で表示される部分が選ばれています。
- 薄く表示される部分は選べません。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

アナログ放送からデジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

※ 2003年9月現在の情報です。

アナログ放送受信用のテレビでデジタル放送をご覧になるには

別売りのデジタルチューナーを接続することによりデジタル放送をご覧いただけます。ただし、受信する画質や横縦比（アスペクト比）はテレビの種類により異なります。
なお、受信には、デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。また、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル共用タイプのチューナーであれば、1台でそれぞれの放送をご覧いただけます。

※ デジタル放送チャンネルに対応した受信アンテナが必要です。
※ ケーブルテレビで地上デジタル放送を受信するには専用のホームターミナル（アダプター）が必要になる場合があります。
詳しくは、加入しているCATV会社にお問い合わせください。

その他

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

数字・アルファベット順

数字

アルファベット

接続端子

☞のページに詳しい説明があります。

1 AVマルチ入力（ゲーム）端子（☞40ページ）

2 ビデオ2入力端子（S1映像/映像/音声）（ビデオID-1システム）（☞36、41ページ）

3 ヘッドホン端子

4 AC入力100V端子（☞17ページ）

5 BS/ビデオ出力端子（映像/音声）（☞30、32、37ページ）

6 検波出力端子（☞37、38ページ）

7 ビットストリーム出力端子（☞37、38ページ）

8 BS IF入力端子（☞13、15ページ）

9 VHF/UHFアンテナ端子（☞13ページ）

10 コンポーネント入力端子（D2映像/音声）（☞32～35、42ページ）

11 BSデコーダー/ビデオ3入力端子（映像/音声）（ビデオID-1システム）（☞37～39ページ）

12 ビデオ1入力端子（S1映像/映像/音声）（ビデオID-1システム）（☞30、31、33～38、42ページ）

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*・・・・・・・ 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・0466-31-2595

受付時間：月〜金曜日 9:00〜20:00　土・日・祝日 9:00〜17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in Taiwan